

厚生文教常任委員会報告事項資料

資料 番号	資 料 名	所 管 課
1	熱中症対策の強化について	健康づくり課
2	健康増進拠点の検討状況について	
3	小田原市子ども・子育て支援及び若者のための取組に関するアンケート調査結果について	子育て政策課

令和6年6月17日

熱中症対策の強化について

1 背景

令和 5 年に改正された気候変動適応法（以下、改正法）においては、熱中症対策強化のための規定が追加され、令和 6 年 4 月 1 日から全面施行となっている。熱中症については、気候変動の影響により国内の死亡者数が年間 1,000 人を超えるなど増加しており、こうした背景から国、県、市町村が連携して対応に当たることとされている。これを受け本市でも熱中症対策の取組を進めていく。

2 改正法の概要

- (1) 熱中症対策を推進するため、政府の熱中症に関する計画を実行計画として法定の閣議決定計画に格上げした。高齢者や乳幼児等熱中症弱者のための対策を進め、学校における対策、労働者や農業者に関する対策など関係府省庁間の連携を強化し、これまで以上に総合的かつ計画的に推進するとしている。
- (2) これまでの熱中症警戒アラートを法に位置づけ、さらに、より深刻な健康被害が発生し得る場合に備え、一段上の熱中症特別警戒アラートが新設された。
- (3) 市町村長の取組として、熱中症対策は多くの関係部署にまたがることから首長主導で各部署の役割を明確にし、連携・協力しながら関係部署がそれぞれ主体的かつ積極的に取組を進めることとされている。
 - ・ 熱中症特別警戒アラートが発表された場合、発表対象地域の市町村長

は住民、関係する公私団体に伝達しなければならない。

- ・一時的に暑さから避難できるよう冷房設備を有する等の要件を満たす施設をクーリングシェルターとして指定し、熱中症特別警戒アラートの発表期間中は一般に開放することとされている。

3 本市の取組

(1) 熱中症特別警戒アラートの発表に関する事務

- ・熱中症特別警戒アラートが発表された場合、おだわら防災ナビや防災メール、市ホームページ、FM おだわら、市公式 X 等により市民や関係団体にこの情報を速やかに発信していく。
- ・これまでに経験したことのない暑さのため、不要不急の外出を控え、エアコン等涼しい環境で過ごすよう注意喚起を行うなど国からのメッセージも情報発信していく。

(参考) 熱中症特別警戒アラートは、県内 5 地点のすべての地点で翌日の暑さ指数の予測値が 35 を超えた場合神奈川県域に発表される。

(2) クーリングシェルターの指定に関する事務

- ・本市では現在おだわら市民交流センターUMECO や川東タウンセンターマロニエなど、市内公共施設 23 か所を指定する予定としている。
- ・この情報については、名称、所在地、開放可能日及び受け入れ可能人数を市ホームページなどで公表するほか、神奈川県とも連携しながら周知に努める。

健康増進拠点の検討状況について

1 検討状況

本市では、第2期小田原市健康増進計画の重点施策の1つに、「市民の健康増進の環境づくり」を新たに掲げ、その一環として誰もが健康増進に取り組める健康増進拠点の検討を行ってきた。

令和5年度に健康増進拠点基本構想の策定に着手。令和5年12月には小田原市健康増進拠点基本構想案として、機能イメージやコンセプト、実践の場となる健康増進拠点を中心とした運動習慣の定着、医療との連携など、地域の健康増進のさらなる充実を目指す新たな健康づくりの仕組みについて厚生文教常任委員会での報告を実施した。

この報告内容を基に、令和6年2月には基本構想案を市民のみなさまにお示しし、様々なご意見をいただいた。また令和6年4月には事業者に対するサウンディングを実施。事業スキームや参入可能性等についての状況把握を行うなど、市民、事業者の両面からの状況把握を実施した。

令和5年12月に示した基本構想の大きな方向性に、その後の基本構想策定支援業務委託の成果、市民意見、そしてサウンディング結果を加え、基本構想の確定版とすることを目指してきたところである。

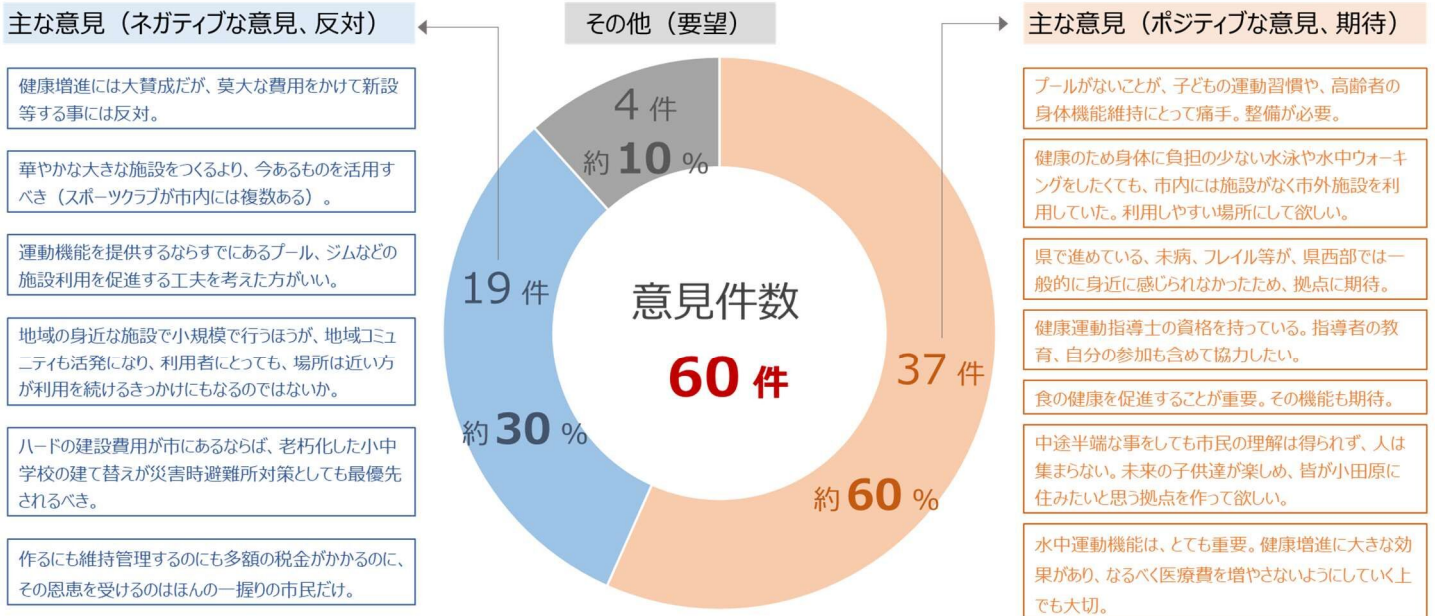
今後については、新たな市政の方針を踏まえ、あらためて調整していく。



1. 市広報における市民意見募集の結果（意見の概要）

募集期間：2月1日～2月29日

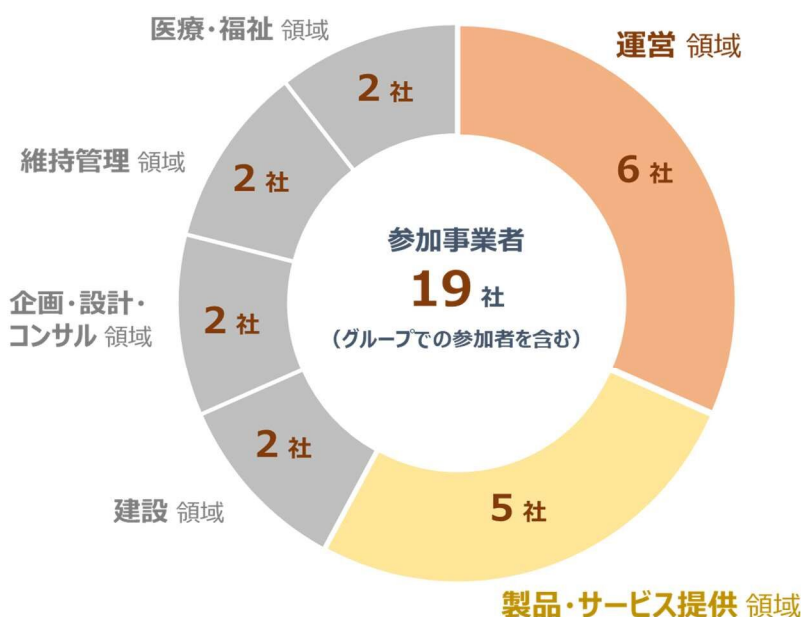
- ポジティブな意見、構想に反対などネガティブな意見の割合は、約2:1。その他、構想に対する意見が読み取れず、要望と整理した意見もあった。
- 水中運動機能に対する期待が多く集まる一方、整備負担を懸念する声や、既存施設や枠組みの維持に優先的に振り向けるべきとの声があった。



2. サウンディング調査（ソフトサウンディング）の結果概要

令和6年4月実施

- ソフトサウンディングの参加者は、17社（グループでの参加者を含むと19社）。公民連携手法を活かすための実施フレームや、健康無関心層の巻き込みを促進するための方策等に関する事例などの意見を得た。一部の概要は以下のとおり。



対話テーマ1：事業スキーム等

- PFI手法で民間資金を採用する場合、ある程度の規模にならないとメリットがない。
- 複合的に機能整備していくと望ましい。健康無関心層にリーチするには、健康増進目的ではないターゲット層を対象にした機能を呼び水にする手法もある。
- 事業手法の検討段階から、一定の予見性を持った立場で運営を中心としたフレームを共創できる仕組みが望ましい。

対話テーマ2：拠点を活用したソフト事業

- 拠点の整備に加え、きっかけをつくる上でもアウトリーチの取組が重要。
- 拠点では運動処方箋の期間など一定期間拠点でのプログラムに取り込み、継続・定着段階で近隣の民間フィットネス施設などに送客する流れが作れるとよい。
- 健康保険組合や特定保健指導などと連携できるとよい。
- 利用者の同意が前提になるが、拠点での運動データを蓄積、匿名化すれば傾向分析への活用もできる。

対話テーマ3：その他要望・アイデア

- 拠点にはハードとして多くの機能を持たずマネジメント機能に特化して、アウトリーチ型の事業に注力すべきではないか。
- 地域共生の要素も盛り込まれているが、コンセプトにも明確に入れるべきではないか。
- 子どもを預かれるキッズスペースがあれば、働く保護者との接点にもなるのではないかな。

業務報告書

小田原市健康増進拠点基本構想策定支援業務

(令和 5 年 6 月～令和 6 年 3 月分)

令和 6 年 3 月



株式会社山下 PMC

1	支援実施概要
(1) 基本構想（案）策定支援 ア 基本方針の整理 イ 関係者等へのヒアリングと市場調査 ウ 本事業の対象範囲の整理と検討 エ 拠点候補地における選定及び条件等の整理 オ 拠点整備イメージの検討 カ 会議体等運営支援 キ 基本構想（案）作成 ク 概算事業費の算出 (2) 全体マネジメント ア 発注者体制の確認及び構築、事業関係者の役割分担の明確化 イ 会議の構築 ウ 情報管理システムの構築 (3) その他策定支援 ア 打合せ及び記録等 イ 計画書・報告書等 上記、委託業務に対して、主に次の業務内容を実施。 (1) 基本構想（案）策定支援 ア 基本方針の整理 ・健康増進拠点（以下、「本拠点」という）の目指す方向性について発注者と共通認識を図り、本拠点到に求められるあり方や基本的機能を整理するとともに、具体的な導入機能や事業手法・整備手法等の検討も行い、本拠点整備の基本方針を整理した。 イ 関係者等へのヒアリングと市場調査 ・本拠点整備に関係する事業者等を洗い出し、本拠点のあり方や想定する機能を踏まえて、各事業者（スポーツ施設運営・維持管理会社、機器メーカー、関連団体、大学等）に対し、拠点整備の方向性や施設運営の課題・ニーズ、連携手法等についてヒアリングを行った。 ・市内スポーツ施設等に関する実態把握の観点から、市内 18 施設（調査協力が得られた 8 施設に対して実施）を対象に、提供プログラム等の運営状況や導入機能、他施設との連携、障がい者等の受入状況等について市場調査を行った。 ・本拠点の導入機能や運営方法等を参考として、発注者と共に下記施設を視察し、実際の運営状況や各施設の提供プログラムの効果や運営課題等を確認した。 ① 健康増進センターすこやかん（神奈川県横須賀市） ② ウェルベース矢巾（岩手県矢巾町） ③ 埼玉県総合リハビリテーションセンター（埼玉県上尾市） ウ 本事業の対象範囲の整理と検討 ・ヒアリングや市場調査結果を踏まえて、本事業に求められる機能や整備範囲の整理を行った。また、医師会や地域包括支援センター、児童福祉施設等と意見交換を行い、求められる機能や対象領	

域の可能性等について検討を行った。

エ 拠点候補地における選定及び条件等の整理

- ・本拠点を新たな土地に整備する場合として、小田原市周辺都市機能誘導区域内を候補地とし、想定エリアでの簡易的なマーケット調査や商圈事例調査を実施し、想定エリアにおける本拠点整備の実現可能性を検討した。

オ 拠点整備イメージの検討

- ・本拠点の整備イメージについて、発注者と共通認識を持って事業を進めるため、本拠点のあり方や導入機能の検討内容に基づき、下記4点の内観イメージパース等を作成した。

- ① フィットネス・トレーニングエリア（陸上運動機能）
- ② プールエリア（水中運動機能）
- ③ 相談・多目的エリア（相談/学び機能）
- ④ 地域連携（地域の健康増進機能）

カ 会議体等運営支援

- ・健康増進計画推進委員会部会員との個別対話を通して、本拠点に関する意見交換を行った。また、会議後には個別対話記録を作成した。

キ 基本構想（案）作成

- ・各検討を進めるとともに基本構想の構成案を発注者と整理し、上記の検討内容に基づき、基本構想（案）を作成した。なお、本業務において検討を実施した「小田原市健康増進拠点基本構想（案）」に、別添「施設規模及び整備・運営手法等に係る整理」の内容や、2024年4月以降に実施するサウンディング型市場調査等の結果を踏まえて、記載内容等を追記することを想定している。

ク 概算事業費の算出

- ・本拠点の導入機能や整備範囲等の検討結果を踏まえて、施設規模別に3パターン（大規模・中規模・小規模）を想定し、類似施設等の整備事例を参考に、建設工事費、調査・設計費、備品購入費等の概算整備費と、水光熱費や維持管理費の運営ライフサイクルコストをそれぞれ試算した。

（2）全体マネジメント

- ・本業務において、業務開始時に会議体の設定（参加者、頻度、開催方法等）を行い、円滑に業務を実施した。
- ・本業務を推進させるため、下記資料を作成し、業務管理及び情報管理方法を構築して、情報の管理・更新・運営を実施した。

- ① 各種会議体の議事録
- ② マスタースケジュール

- ・本業務を円滑に推進するため、発注者と、定例会等以外にもWEB会議やメール等でのやり取りを適宜実施した。

（3）その他策定支援

- ・上記（2）参照

報告事項	
2	各業務報告 ※議事録は別途
○定例等の打合せ ●2023年6月19日（月）15：30 キックオフ 主な議題 ① 発注者からの連絡事項 ② PJ体制の確認 ・発注者体制について ・CMr体制について山下PMC ③ プロジェクトの進め方について ・情報管理手法：各資料の提示・保管方法、議事録フォーマット等の確認(Y) ・会議体の設定について ④ 健康増進拠点の方向性確認 ・類似事例の確認（健康増進施設、プール） ・ヒアリング候補先の確認 ・導入機能の方向性の確認 ⑤ マスタースケジュールについて ・マスタースケジュール ・次回以降の進め方、想定議題について ⑥ その他 ・契約手続きについて ・着手時提出資料の確認 ・業務計画書フォーマット ・再委託先について	●2023年7月5日（水）14：00 第2回定例会 主な議題 ① 発注者からの連絡事項 ② 前回議事録の確認 ③ 健康増進拠点の方向性確認 ・コンセプト、導入機能の方向性の確認 ・参考事例の紹介（フィットネス等） ④ ヒアリング調査について ・ヒアリング方針 ・ヒアリング候補の確認 ⑤ 基本構想の策定について ⑥ 今後の進め方について ・マスタースケジュール ・次回以降の進め方、想定議題について ⑦ その他 ・契約手続きについて ・着手時提出資料の確認 ・業務計画書フォーマット ・再委託先について

報告事項	
2	各業務報告 ※議事録は別途
●2023年7月19日（水）15：00 第3回定例会 主な議題 ① 発注者からの連絡事項 ② 前回議事録の確認 ③ 健康増進拠点の方向性確認 ・施設イメージ、整備方針の確認 ④ ヒアリング調査について ・ヒアリング結果 ・市内スポーツ施設の実態把握 ⑤ 基本構想の策定について ⑥ 今後の進め方 ・スケジュール ⑦ その他 ・契約手続きについて ・視察、ヒアリング日程について ●2023年8月1日（木）15：00 第4回定例会 主な議題 ① 発注者からの連絡事項 ② 前回議事録の確認 ③ ヒアリング調査について ・健康増進計画推進委員会 部会結果 ・ヒアリング結果 ・ヒアリング候補一覧 ④ 健康増進拠点の方針確認 ・施設イメージ、整備方針の確認 ⑤ その他 ・業務着手時アンケートについて ・視察、ヒアリング日程について	●2023年8月17日（木）15：00 第5回定例会 主な議題 ① 発注者からの連絡事項 ② 前回議事録の確認 ③ ヒアリング調査について ・ヒアリング・視察結果 ・大学連携の方向性について ・ヒアリング候補一覧 ④ 健康増進拠点の方針確認 ・健康増進拠点の役割等について ・各機能・用途の整備方針の確認 ⑤ 今後の進め方 ・スケジュール ⑥ その他 ・視察について ・健康増進計画関連事業について
	●2023年8月30日（水）15：00 第6回定例会 主な議題 ① 発注者からの連絡事項 ② 前回議事録の確認 ③ ヒアリング調査について ・ヒアリング・視察結果 ・大学連携の方向性について ④ 健康増進拠点の方針確認 ・事業スキームの想定について ・施設イメージ図について ⑤ 今後の進め方 ・スケジュール ⑥ その他 ・委員会報告内容

報告事項	
2	各業務報告 ※議事録は別途
●2023 年 9 月 12 日（火）15：00 第 7 回定例会 主な議題 ① 発注者からの連絡事項 ② 前回議事録の確認 ③ 健康増進拠点の方針確認 ・機能イメージ図について ・健康増進拠点の連携について ④ 基本構想の策定について ⑤ 今後の進め方 ⑥ その他 ●2023 年 9 月 27 日（水）15：00 第 8 回定例会 主な議題 ① 発注者からの連絡事項 ② 前回議事録の確認 ③ 健康増進拠点の方針確認 ・施設イメージ図について ・機能毎の役割、規模の設定基準について ④ 基本構想の策定について ・基本構想構成案の確認 ⑤ 今後の進め方 ・スケジュール ⑥ その他	●2023 年 10 月 11 日（水）15：00 第 9 回定例会 主な議題 ① 発注者からの連絡事項 ② 前回議事録の確認 ③ 健康増進拠点の方針確認 ・施設イメージ図について ・機能毎の役割、規模の設定基準について ・施設プランについて ④ 基本構想の策定について ⑤ 今後の進め方 ・スケジュール ⑥ その他 ●2023 年 11 月 1 日（水）13：30 第 10 回定例会 主な議題 ① 発注者からの連絡事項 ② 前回議事録の確認 ③ 健康増進拠点の方針確認 ・施設イメージ図について ・規模の設定（マーケット調査）について ④ 基本構想の策定について ・基本構想（素案）の確認 ⑤ 今後の進め方 ・スケジュール ⑥ その他

報告事項	
2	各業務報告 ※議事録は別途
●2023 年 11 月 14 日（火）15:30 第 11 回定例会 主な議題 ① 発注者からの連絡事項 ② 前回議事録の確認 ③ 基本構想の策定について ・基本構想（素案）の確認 ④ 今後の進め方 ・スケジュール ⑤ その他 ●2023 年 12 月 20 日（水）14:00 第 12 回定例会 主な議題 ① 発注者からの連絡事項 ② 前回議事録の確認 ③ 健康増進拠点の方針確認 ・イメージパースの確認 ・運営イメージの確認 ④ ヒアリングについて ・ヒアリングの進め方 ・サウンディング型市場調査について ⑤ 今後の進め方 ・スケジュール ⑥ その他	●2024 年 1 月 10 日（水）15：00 第 13 回定例会 主な議題 ① 発注者からの連絡事項 ② 前回議事録の確認 ③ サウンディング調査について ・サウンディング型市場調査について ④ 今後の進め方について ⑤ その他 ・推進委員会、医師会や福祉団体へのヒアリング結果について ●2024 年 1 月 25 日（木）15：00 第 14 回定例会 主な議題 ① 発注者からの連絡事項 ② 前回議事録の確認 ③ サウンディング調査について ・サウンディング型市場調査の実施範囲等 ④ 今後の進め方 ⑤ その他

報告事項	
2	各業務報告 ※議事録は別途
●2024年2月8日（木）13：00 第15回定例会 主な議題 ① 発注者からの連絡事項 ② 前回議事録の確認 ③ 事業手法について ④ サウンディング調査について ・サウンディング型市場調査の実施範囲等 ⑤ その他 ●2024年2月29日（木）15：00 第16回定例会 主な議題 ① 発注者からの連絡事項 ② 前回議事録の確認 ③ 次年度業務について ④ サウンディング調査について ・サウンディング型市場調査の実施範囲等 ⑤ その他	●2024年3月13日（水）15：00 第17回定例会 主な議題 ① 発注者からの連絡事項 ② 前回議事録の確認 ③ 概算事業費について ④ サウンディング調査について ・サウンディング型市場調査の実施時期等 ⑤ その他
	●2024年3月28日（木）15：45 第18回定例会 主な議題 ① 発注者からの連絡事項 ② 前回議事録の確認 ③ 成果品の確認 ④ その他

施設規模及び整備・運営手法等に係る整理

1 施設概要

(1) 施設規模

本拠点の施設規模については、配置する機能の選択、各機能の規模と対象範囲、提供するサービス内容に応じて、小規模、中規模、大規模の3つのパターンを想定しています。これらの施設規模は、基本計画段階で精査し、事業費や具体的な運営方法を踏まえたうえで最終的に設定します。また、外構計画については、拠点候補地が決定した後に、機能構成や規模などを検討することとします。

【施設規模の検討】

	機能	小規模		中規模		大規模	
		主な用途	小計(㎡)	用途	小計(㎡)	用途	小計(㎡)
屋外構成	外構	駐車場	敷地面積 による	駐車場	敷地面積 による	駐車場	敷地面積 による
		広場		広場		広場	
		屋外トレーニング		屋外トレーニング		屋外トレーニング	
屋内構成	プール	機能訓練プール	550	機能訓練プール	1,300	機能訓練プール	2,250
		子どもプール (じゃぶじゃぶ池)		25mプール		50mプール	
				子どもプール (じゃぶじゃぶ池)		子どもプール (じゃぶじゃぶ池)	
	トレーニング ジム	トレーニングルーム	250	トレーニングルーム	700	トレーニングルーム	1,200
		スタジオA		スタジオA,B		スタジオA,B,C	
		子どもの運動 (インクルーシブ)		子どもの運動 (インクルーシブ)		子どもの運動 (インクルーシブ)	
	相談・食育	相談室/コーナー	60	相談室/コーナー	250	相談室/コーナー	310
		食育コーナー		キッチンスタジオ		キッチンスタジオ	
		情報発信		食育コーナー		食育コーナー	
	多目的 学び・交流	多目的室(小)	200	多目的室	400	多目的室(大)	500
		視聴覚室(小)		視聴覚室		視聴覚室(大)	
	共用部		200		500		900
施設規模	合計 (㎡)		1,260		3,150		5,160

※面積は想定規模に基づく参考値であり、施設計画・規模等を確定するものではありません。

※今後の基本計画以降の検討により、各機能構成及び面積の見直し、更新を行います。

(2) 導入機能の構成案

施設規模の想定パターンに基づき、本拠点整備における施設の機能構成案を検討した結果を以下に示します。本拠点の整備コンセプトや施設整備方針に沿って、できる限り1フロアに全ての機能を配置し、あらゆる人々が利用しやすく、運動を始めるきっかけとなる空間を目指します。

拠点候補地がまだ決定していないため、屋外施設の具体的な機能構成については今後検討します。また、屋内施設の具体的な構成や規模、機能配置についても、基本計画以降の検討を踏まえ、拠点候補地や施設規模が決定した後に詳細を検討することとします。

【施設構成、規模・配置イメージ】

規模	施設構成	規模・配置※
小規模 1,260 m ²		
中規模 3,150 m ²		
大規模 5,160 m ²		

※敷地規模約 5,000 m²の想定土地において検討しています。

※施設構成及び規模・配置は、基本構想段階における想定イメージであり今後の検討で変更します。

(3) 持続可能な施設

健康づくりは将来にわたっても重要性が増しており、社会環境の変化に対応し続けるためには、持続可能な社会の実現に貢献する施設であることも重要です。そのため、健康増進の取り組みを促進するとともに、環境への配慮や災害時対応に関する検討も行います。

施設としては、環境負荷低減及び脱炭素社会の実現に向けて、再生可能エネルギーの積極的な活用や高効率設備の導入、断熱性能の強化等の環境に配慮した施設を目指しま

す。また、耐震性能の向上に加え、公共施設として災害対応拠点としての活用や防災備蓄品の保管等も併せて検討します。

2 拠点候補地

(1) 拠点候補地の基本方針

小田原市立地適正化計画との整合性、将来の医療連携を視野に入れ、市立病院との関連性や、あらゆる人々の利用を想定して、利便性やアクセスの容易さを加味して検討します。

基本計画以降に、基本的な敷地条件、アクセス性、土地の所有形態などの事業性を考慮し、さらに事業スケジュールとの整合性を踏まえて比較検討を行います。これらの検討を基に、最終的な拠点候補地の選定を行うこととします。

(2) 拠点候補地の立地条件

導入する機能を基に設定された施設規模について、類似施設の出店条件や立地状況を参考に、施設規模の実現可能性と敷地面積の目安を検討します。

ア 商圏人口

健康増進拠点と機能的に類似する民間の総合型フィットネスクラブの出店条件を参考にとすると、健康増進拠点の商圏範囲としては半径 2～3 km、または車で 15 分の範囲内で、商圏人口は 7 万人以上と推測されます。

拠点候補地エリアの商圏人口は、これらの条件を満たす可能性が高いと考えられます。また、類似施設の商圏人口と比較しても、同程度の商圏人口を確保できると見込まれます。

【総合型フィットネスクラブの出店条件】

① 統合型フィットネスクラブ

	敷地面積	延床面積	商圏範囲	商圏人口	その他要項
A社	3,300～6,000㎡	1,600～3,300㎡	半径2km	7万人以上	
B社	3,300～5,000㎡	1,300～2,600㎡	半径3km	10万人以上	
C社	3,300㎡以上	2,000～3,000㎡	半径3km	7万人以上	駐車場台数200台以上

② 総合型フィットネスクラブ（プールなし）

	敷地面積	延床面積	商圏範囲	商圏人口	その他要項
D社	—	660～1,500㎡	ドライブ15分	10万人以上	駐車場台数80～200台
E社	660㎡	1,300～2,000㎡	半径2km	7万人以上	駅から10分以内
F社	—	330㎡	半径2km	10万人以上	駅から10分以内

（出典：商業コンサルタント会社調査結果）

【拠点候補地エリア及び類似施設の商圈人口】

名称	延床面積	商圈人口（人）					
		ドライブ 5分	ドライブ 10分	ドライブ 15分	1km	2km	3km
健康増進拠点（仮定） （小田原駅周辺都市機能誘導区域内）	1,260㎡(小) 3,150㎡(中) 5,160㎡(大)	約16,000	約60,000	約120,000	約14,500	約45,000	約95,000
① 神奈川県横須賀市 すこやか 横須賀市健康増進センター	2,798㎡	14,444	70,399	134,109	12,325	38,046	87,343
② 茨城県古河市 エイブルスポーツ 交流センター	5,105㎡	6,458	37,919	75,172	3,845	22,420	47,275
③ 千葉県木更津市 健康増進センター いきいき館	2,640㎡	5,551	31,888	96,481	2,668	15,606	40,562
④ 神奈川県平塚市 リフレッシュプラザ平塚	2,774㎡	6,619	34,597	118,773	7,009	33,579	85,285
⑤ 千葉県八千代市 セントラル生涯学習プラザ	12,651㎡	31,807	115,578	226,676	25,585	75,570	148,510

（出典：国勢調査 2020 年）

イ 敷地規模

拠点候補地の立地条件として、敷地面積の設定は重要な要素です。敷地面積を検討する際の主要な要因には、施設規模と駐車台数があります。適切な駐車台数は、施設の運営方法やメインターゲットによって大きく左右されますが、類似施設の駐車台数を参考に試算した結果、100 台程度の駐車スペースを整備することが望ましいと考えられます。

導入機能の構成案に基づき、可能な限り 1 フロアに機能を配置する場合、敷地面積の目安としては、想定施設規模が小規模であれば約 5,000 ㎡、中規模または大規模（2 階建て）であれば約 6,500 ㎡が適切と考えられます。ただし、屋外機能の構成によって必要な敷地面積は変動するため、基本計画以降に機能構成の検討とともに、拠点候補地の必要規模を整理することとします。

【類似施設の施設規模】

類似施設	延床面積	プール(※1)	トレーニング	その他施設	駐車場台数
① 神奈川県横須賀市 すこやか 横須賀市健康増進センター	2,798㎡	933㎡	466㎡	1,399㎡	185台(※2)
② 茨城県古河市 エイブルスポーツ交流センター	5,105㎡	1,500㎡	—	—	あり (台数不明)
③ 千葉県木更津市 健康増進センター いきいき館	2,641㎡	1,705㎡	672㎡	264㎡	66台
④ 神奈川県平塚市 リフレッシュプラザ平塚	2,759㎡	552㎡	276㎡	1,931㎡	29台
⑤ 千葉県八千代市 セントラル生涯学習プラザ	12,651㎡	975㎡	233㎡	11,443㎡	95台

※1 プール面積はプールサイド等を含めた面積

（出展：施設ホームページ）

※2 ウェルシティ市民プラザ共用駐車場台数

3 整備・運営手法

(1) 整備手法

健康増進拠点の整備手法としては、従来型の公設公営方式に加えて、民間事業者のノウハウやアイデア及び運営における充実したサービス提供を考え、DBO 方式や民間資本を活用した PFI 方式等の官民連携手法の検討が必要です。また、計画段階から民間事業者との対話を重ね、持続可能な事業手法の可能性について検討を行うこととします。

ア 従来型手法（公設公営方式）

公共の資金調達により、自ら詳細な仕様を決めて設計・建設を民間事業者に発注し、維持管理・運営も公共が行います。もしくは、指定管理者制度等を活用して維持管理・運営を民間事業者に委託する方式です。

イ DBO 方式

公共の資金調達により、民間事業者に設計(Design)、建設(Build)、維持管理・運営(Operate)を一括して発注し、施設の所有は公共が行い、一体事業として包括的に民間事業者に委託する方式です。

ウ PFI 手法

PFI 法に基づき、民間事業者の資金調達により、民間事業者が設計・建設を行い、施設の維持管理や運営を包括的に行う方式です。維持管理・運営期間の施設所有形態によって、PFI 手法の方式が分類されます。

【事業方式】

事業方式		特徴	役割分担					
			資金 調達	建設	維持 管理	運営 管理	所有	
							運営中	運営後
公設 公営	一部 委託	公共の要件を反映した発注仕様書で発注できるため、公共の意向を反映しやすい	公共	公共	公共	公共 民間	公共	
公設 民営	DB	設計、建設を一体発注するため、経済設計等、民間ノウハウを取り入れることができる	公共	民間	民間	公共 民間	公共	
	DBO	設計、施工、維持管理・運営を一括発注するため、運営事業者のノウハウを反映した施設が実現しやすい	公共	民間	民間	民間	公共	

PFI	BTO	設計、施工、維持管理・運営を一体発注するため、運営事業者のノウハウを反映した施設が実現しやすい 民間資金の活用により、公共の財政負担を平準化できる	民間	民間	民間	民間	公共	公共
	BOT	BTOと同様のメリットの他、施設所有権が民間にあるため、柔軟な維持管理・運営が可能になる	民間	民間	民間	民間	民間	公共
	BOO	BTOと同様のメリットの他、運営終了後に施設解体を行うまで所有権が民間にあるため、より民間施設としての運営になる	民間	民間	民間	民間	民間	民間

(2) 運営手法

プールやトレーニング施設は、安全管理をはじめとする施設の維持管理や運営に専門知識と技術が必要な施設です。そのため、これらの分野で豊富な経験を持つ民間事業者の知識と技術を活用することが有効です。さらに、維持管理や運営にかかる費用を軽減し、より効果的で持続可能なサービスを提供するためには、指定管理者制度やPFI制度など、運営段階での民間活力を導入することを検討します。

また、既存の取組や地域の団体、企業との共創や相乗効果を図ることが重要になるため、健康増進拠点を中心にした連携ネットワークの構築など、行政機関としての関わり方や役割についても検討を進めていくこととします。

4 概算事業費・財源計画

(1) 概算事業費

現時点では、拠点候補地、施設規模、導入機能、仕様、運営・事業手法等がまだ確定していないため、施設計画で設定された想定施設規模（小規模、中規模、大規模）に基づき、類似施設の面積あたりの整備費単価や維持管理費、メーカーの価格情報等を参考に、現在の建設市況や今後の物価変動を考慮して、以下の表に示すような概算事業費を試算しています。

今後は、健康増進拠点に必要な規模と機能、そして事業費のバランスを考慮しながら検討を進めるとともに、建設費や維持管理・運営費等の物価変動の影響も踏まえ、基本計画以降に事業費の精査を行うこととします。

【概算整備費】

(税抜金額 (千円))

費目			施設規模			備考
			小規模	中規模	大規模	
概 算 整 備 費	建設工事 関連費	プール整備	430,100	1,016,600	1,759,500	類似用途実績及び類似施設の公開情報を参考に試算 プール単価 (782千円/㎡)
		プール以外整備	406,830	1,060,050	1,667,430	類似用途実績及び類似施設の公開情報を参考に試算 プール以外単価 (573千円/㎡)
		外構整備	243,201	120,300	157,365	他施設整備実績を参考に試算 遊具・機能訓練器具の整備含む 外構単価 (65千円/㎡)
		解体工事				敷地未定のため対象外
		小計	1,080,131	2,196,950	3,584,295	
	調査・設計 関連費	基本・実施設計	62,138	171,405	236,182	告示98号を基に試算 標準外業務の想定費用を含む
		工事監理	16,105	34,766	50,072	告示98号を基に試算 標準外業務の想定費用を含む
		測量・地盤調査				敷地未定のため対象外
		小計	78,244	206,172	286,254	
	備品移転 関連費	什器・備品購入				※メーカー確認中
		土地取得関連				敷地未定のため対象外
		小計				
	合計 (千円)		1,158,375	2,403,122	3,870,550	

※上記金額は、類似施設事例等を参考に面積当たりの工事単価を基に算出したものであり、今後の計画により変動する可能性があります。

※上記金額は、今後3年分の物価上昇率（年2～4％）を考慮した概算費用であり、今後の物価変動により変動する可能性があります。

※以下の項目は上表概算事業費に含まないものとします。

- ・工事中にインフラ盛替えが必要になった場合の工事費用
- ・敷地の切土盛り土等が必要になった場合の造成工事費用
- ・地中障害物や土壌汚染があった場合の対策費用
- ・埋蔵文化財の試掘調査及び本掘調査の費用

【運営ライフサイクルコスト】

(税抜金額(千円))

費目			施設規模			備考
			小規模	中規模	大規模	
運営 LCC	水光熱費等	プール	11,550	27,300	47,250	想定規模・設備による使用量予測及び類似施設の公開情報を参考に試算 プール単価(21千円/年・㎡)
		プール以外	1,420	3,700	5,820	※令和5年度版建築物のライフサイクルコスト+他物件事例に基づき試算 その他単価(2千円/年・㎡)
	維持管理費	プール	13,200	31,200	54,000	類似施設の公開情報を参考に試算 プール単価(24千円/年・㎡)
		プール以外	10,650	27,750	43,650	※令和5年度版建築物のライフサイクルコスト+他物件事例に基づき試算 その他単価(15千円/年・㎡)
		小計	36,820	89,950	150,720	
	単年度 合計(千円)		36,820	89,950	150,720	※業務期間20年間にて試算 ※維持管理費には、修繕更新費、施設管理費(施設管理委託費、受付費、警備費)、点検費を含む
	20年間 合計(千円)		736,400	1,799,000	3,014,400	

※上記金額は、一般的な運用費用を見込んでおり、今後の運用方法により変動する可能性があります。

※上記金額は、今後3年分の物価上昇率(年2~3%)を考慮した概算費用であり、今後の物価変動により変動する可能性があります。

※上記金額は、施設や設備等の修繕更新時期に係る費用を20年間で平準化して見込んでおります。

※以下の項目は上表概算事業費に含まないものとします。

- ・開業に伴う準備費用

(2) 補助金・交付金等の検討

本市の財政負担軽減を目的に、施設計画に応じた国庫補助の活用を検討します。現時点(令和5年度予算)で活用検討の候補となり得る国庫補助事業等は以下のとおりです。なお、今後の計画の深度化に伴い、対象補助事業についても精査するとともに、今後の国等の動向にも注目していくこととします。

ア 都市構造再編集集中支援事業(国土交通省)

立地適正化計画の目標に適合し、都市再生整備計画に基づく、地方公共団体等が行う地域交流施設等の公共公益施設の整備等に対して支援(補助率1/2)

イ 体育・スポーツ施設整備(学校施設環境改善交付金)(スポーツ庁)

子供のスポーツ機会の場や地域住民がライフステージに応じたスポーツに親しむ場としての地域スポーツ施設(スイミング施設等)の環境整備を支援(補助率1/3)

ウ スポーツ振興くじ助成金による支援（日本スポーツ振興センター）

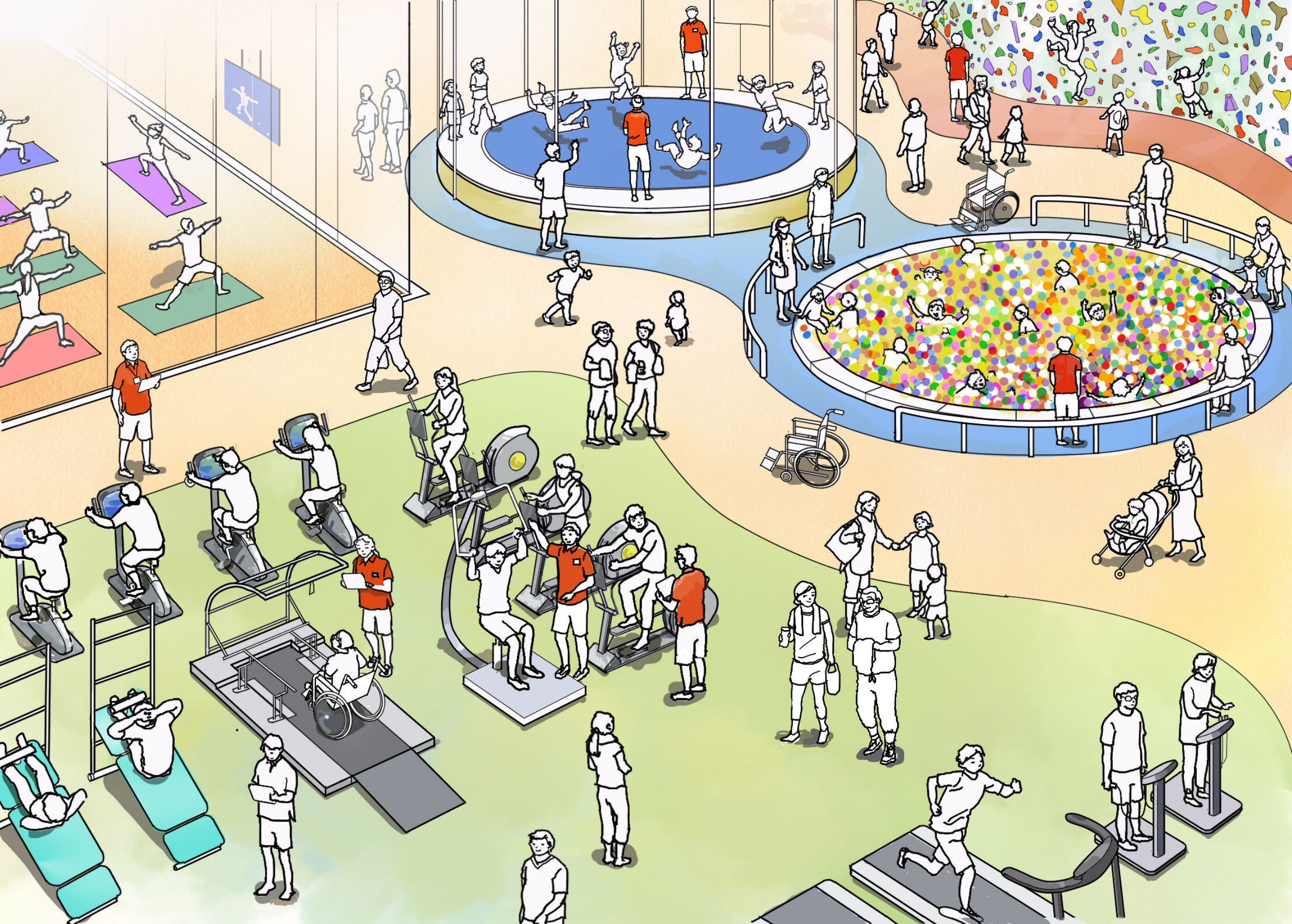
誰もが身近にスポーツに親しめる環境づくり等、地方公共団体及びスポーツ団体が
行うスポーツの振興に資する活動に対して助成（助成金上限額：2 千万円）

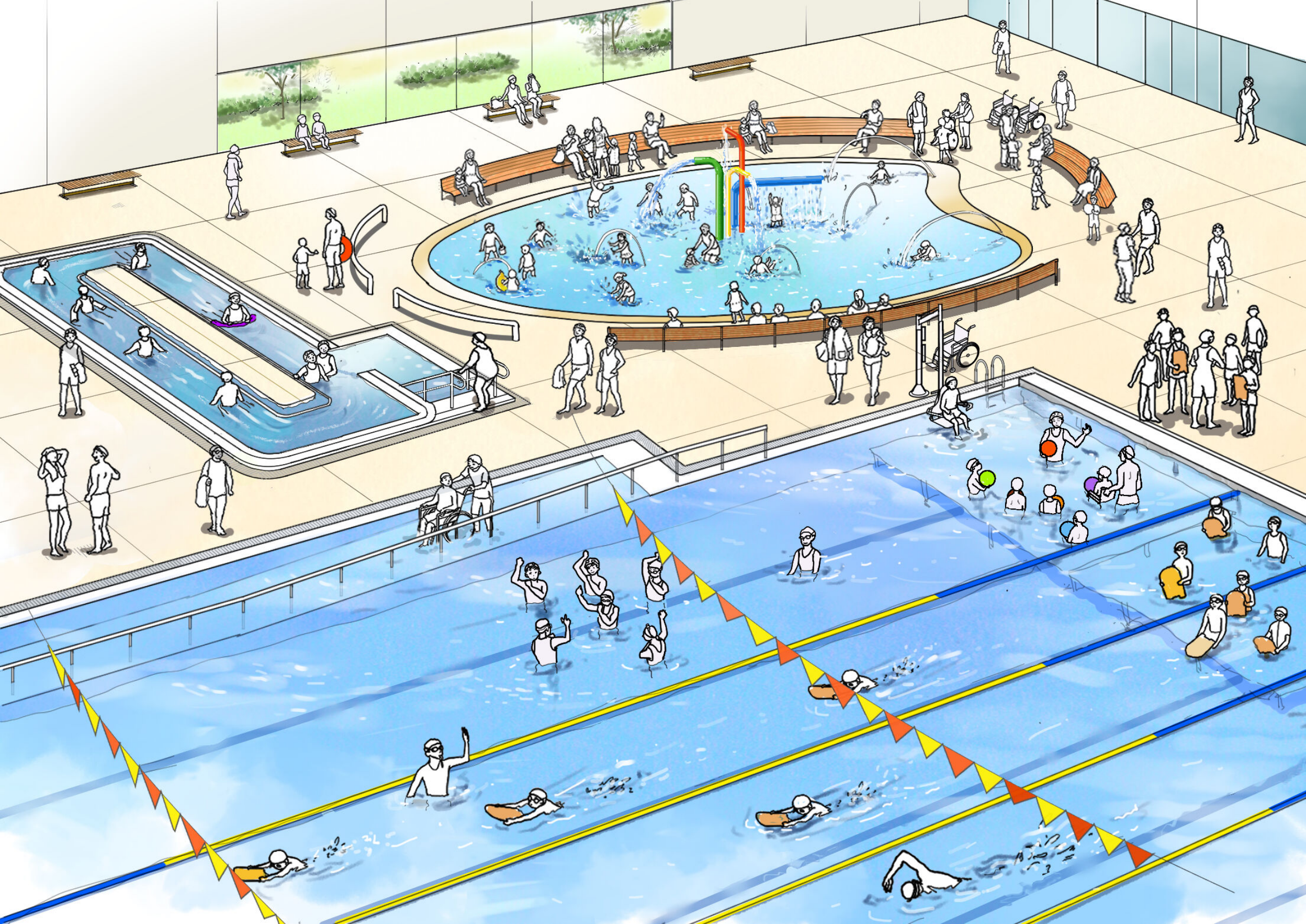
5 事業スケジュール

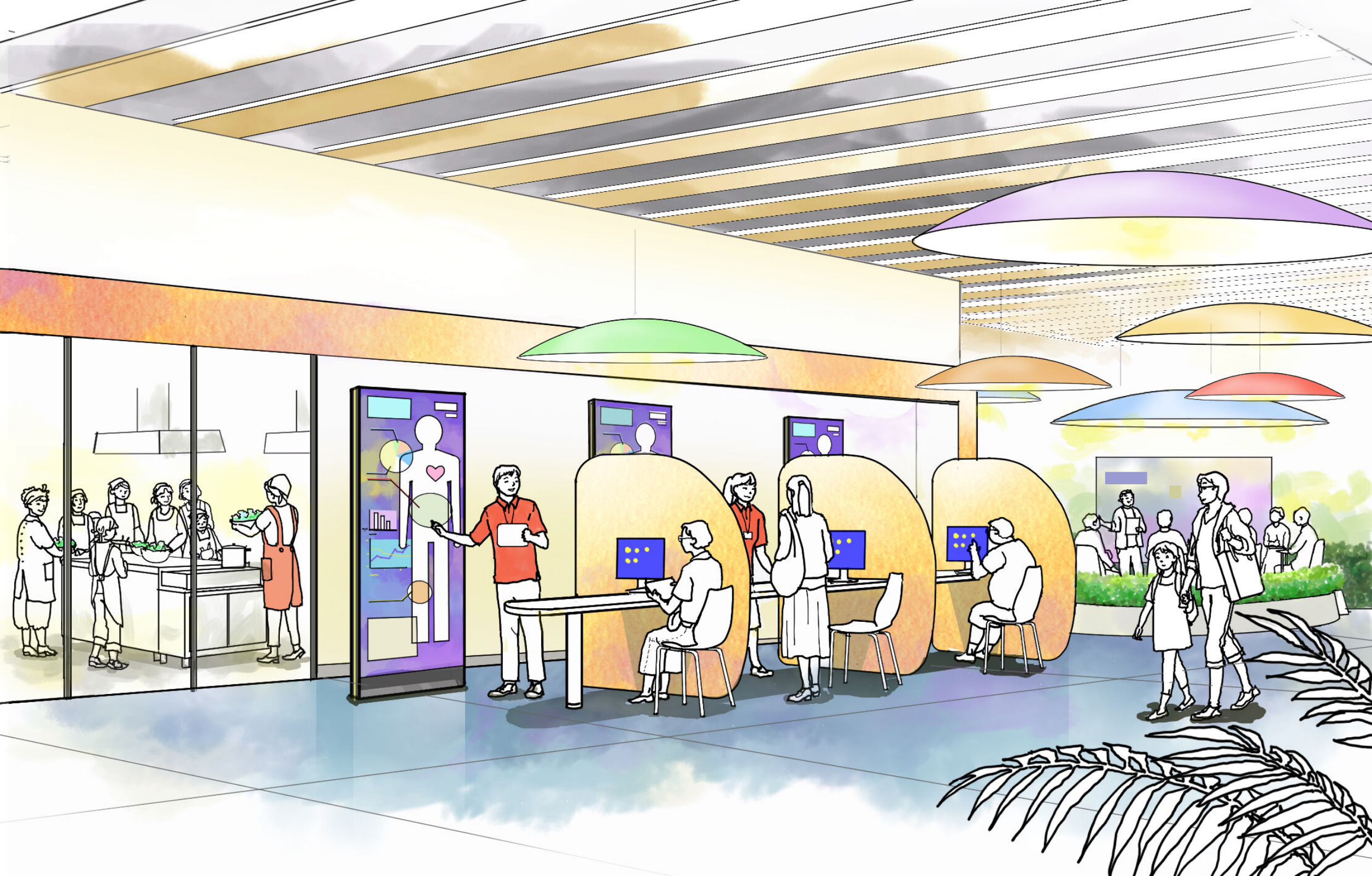
基本構想で掲げた機能の実現に向け、民間資金活用の可能性を含む今後の事業手法等の
検討を踏まえた上で、今後基本計画として整理していくこととします。

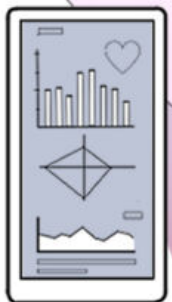
以上

健康増進拠点の機能イメージパース









小田原市子ども・子育て支援及び若者のための取組に関するアンケート調査結果について

1 目 的

子ども・子育て支援法に基づき、「第3期小田原市子ども・子育て支援事業計画」を策定するに当たり、必要となる基礎データ及び住民の教育・保育等に関する利用意向等を把握するため、調査を実施した。

また、令和5年（2023年）4月に施行された「こども基本法」において、地方公共団体は、こどもや子育て当事者等の意見を施策に反映させるために必要な措置を講ずるものとされたことから、若者の意識や意向を把握するための調査を併せて実施した。

2 調査概要

調 査 期 間	令和6年（2024年）1月25日～2月26日
調査対象者	(1) 未就学児（0歳から5歳児まで）の保護者（4,000人） (2) 小学生（小学1年生から6年生まで）の保護者（2,000人） (3) 若者（16歳から29歳まで）（3,000人）
調 査 方 法	インターネット（パソコン、スマートフォン等）による調査
調 査 項 目	国の手引きを参考に教育・保育等の確保体制を計画に位置付けるために必要な項目、他自治体の事例、附属機関である小田原市子ども・子育て会議委員より御意見いただいた項目について設定した。 (1) 未就学児調査（38問） 子育ての環境、保護者の就労状況、教育・保育事業の利用状況やニーズ、妊娠中や出産後に必要なサービス、子育て環境や支援に対する満足度

	(2) 小学生調査 (22 問) 子育て環境、保護者の就労状況、放課後の過ごし方やニーズ、子育て環境や支援に対する満足度 (3) 若者調査 (27 問) 生活状況、悩みや相談相手、将来に対する考え方、子どもや若者に関する支援のニーズ
--	--

3 回答状況

調査区分	調査対象者数	回答数	回答率
(1) 未就学児調査	4,000 件	1,418 件	35.5%
(2) 小学生調査	2,000 件	672 件	33.6%
(3) 若者調査	3,000 件	444 件	14.8%

4 調査結果

参考資料 3－1 のとおり

5 調査結果の活用等について

- ・「第 3 期小田原市子ども・子育て支援事業計画」（令和 7 年度～11 年度）における「幼児期の教育・保育の量の見込み」及び「地域子ども・子育て支援事業の量の見込み」を算出し、それぞれの「見込み量」に対する提供体制の「確保内容」を定める。
- ・附属機関である小田原市子ども・子育て会議に調査結果を報告し、今後のこども施策の在り方について御意見をいただく。
- ・関係所管課に調査結果をフィードバックし、今後のこども施策を検討する際の参考としていく。
- ・市のホームページにおいて調査結果を公表する。

小田原市

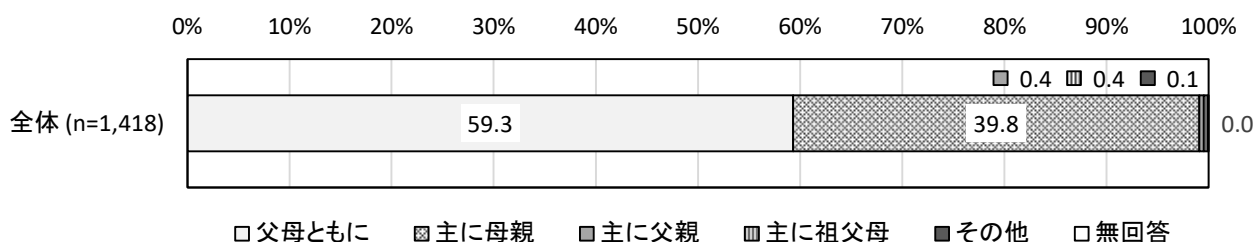
子ども・子育て支援および若者のための取組に関するアンケート調査

調査結果報告書 【抜粋】

調査結果 未就学児調査

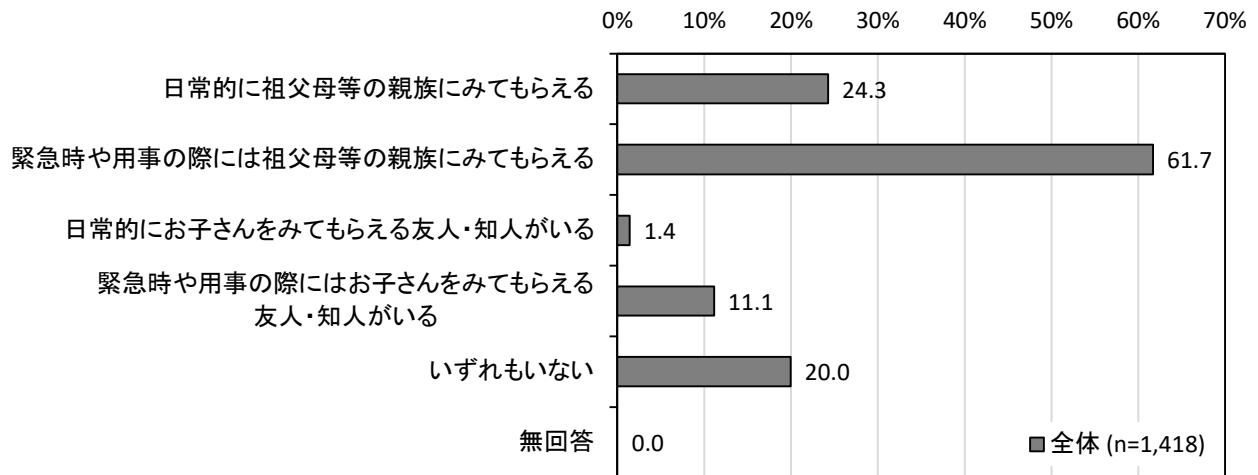
問6 あて名のお子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号を1つ選んでください。

「父母ともに」が59.3%と最も高く、次いで「主に母親」が39.8%となっています。



問7 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号をすべて選んでください。

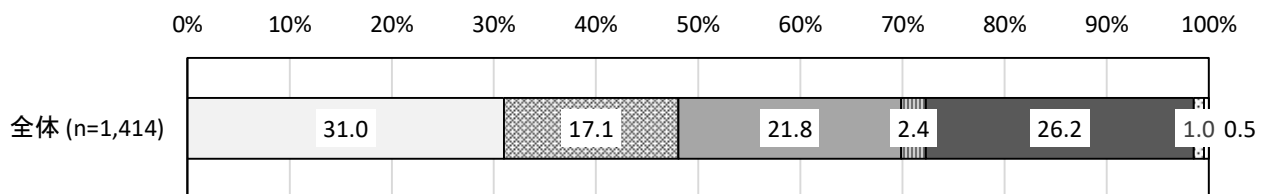
「緊急時や用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が61.7%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が24.3%、「緊急時や用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が11.1%となっていますが、「いずれもない」が20.0%です。



問9 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

（１）母親【父子家庭の場合は（１）は記入不要】 当てはまる番号を１つ選んでください。

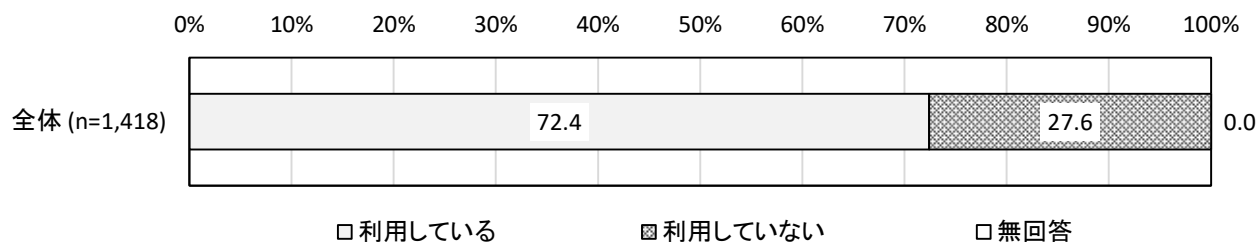
「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が31.0%と最も高く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」が26.2%、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が21.8%となっています。



- ☐ フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- ☒ フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- ☐ パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- ☐ パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- ☐ 以前は就労していたが、現在は就労していない
- ☐ これまで就労したことがない
- ☐ 無回答

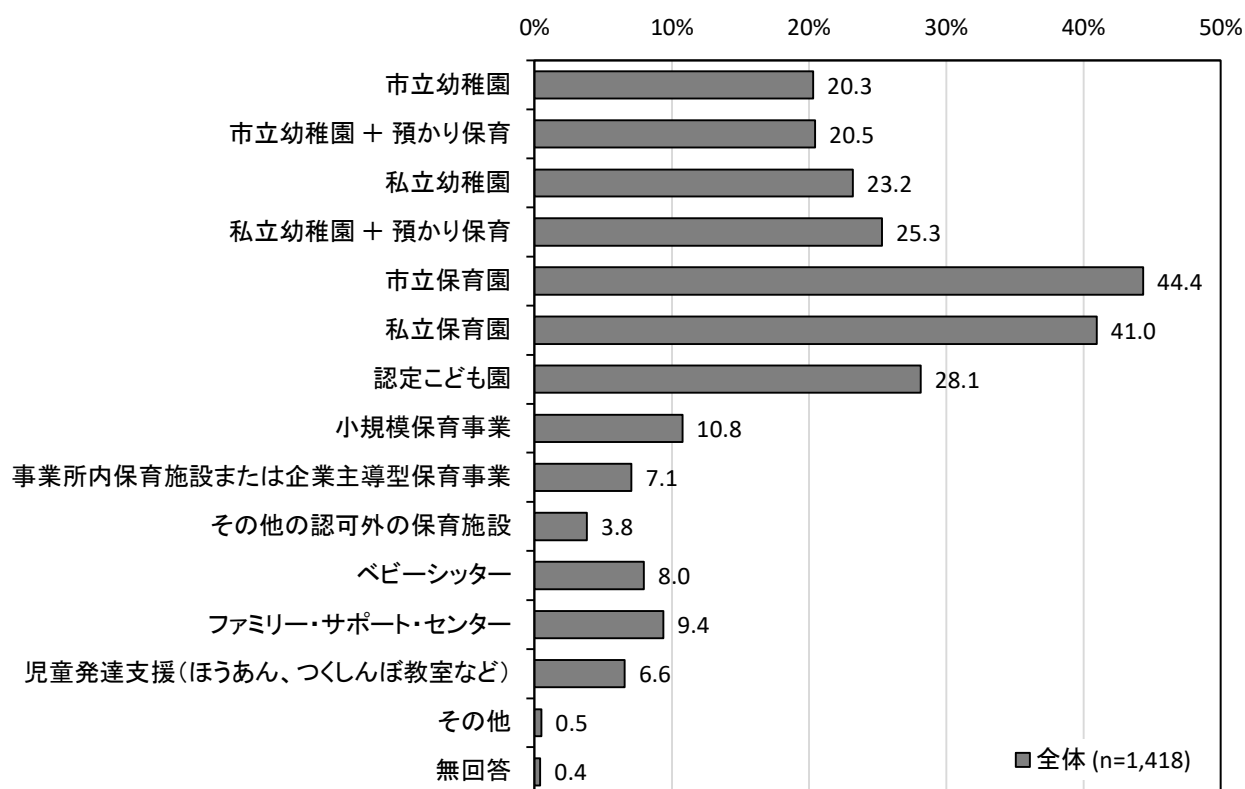
問 12 あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号を1つ選んでください。

「利用している」が72.4%、「利用していない」が27.6%となっています。



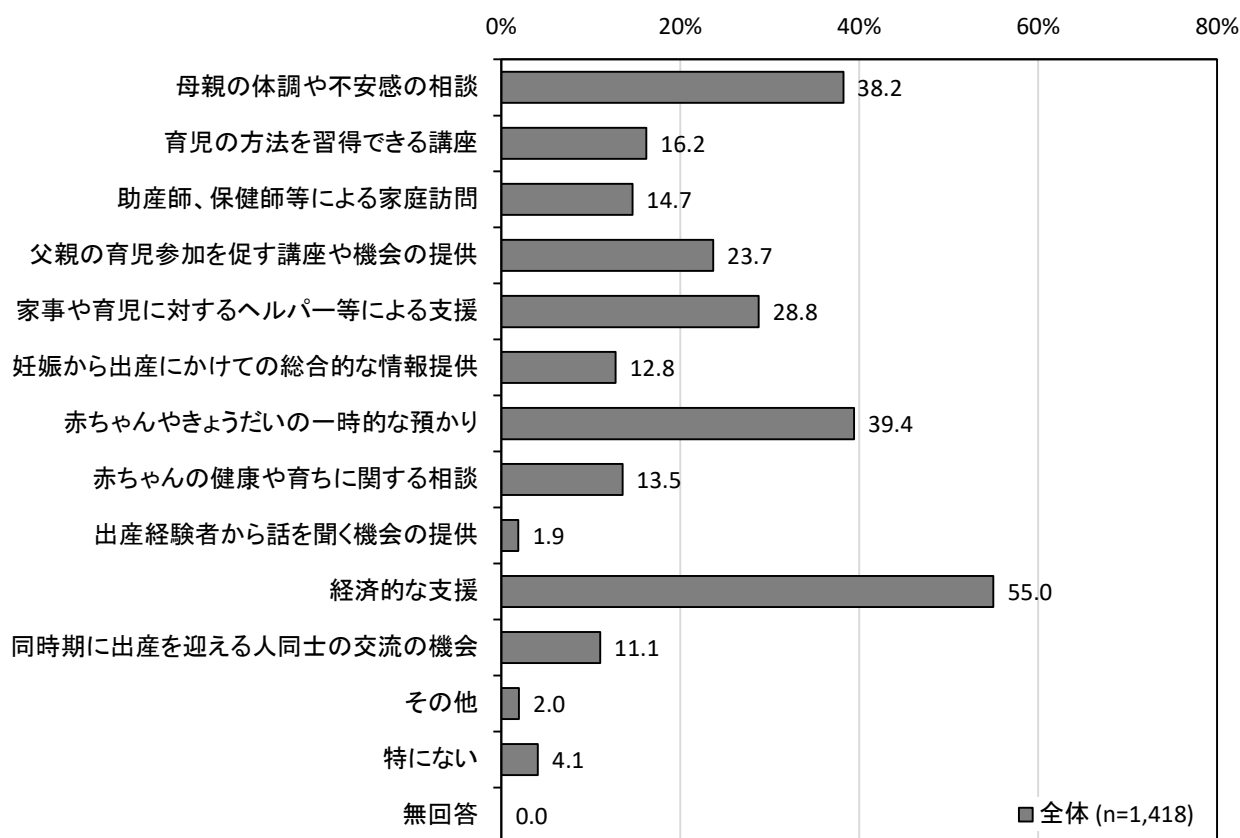
問 13 すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、どの事業を「定期的に」利用したいと考えますか。当てはまる番号をすべて選んでください。

「市立保育園」が44.4%と最も高く、次いで「私立保育園」が41.0%、「認定こども園」が28.1%となっています。



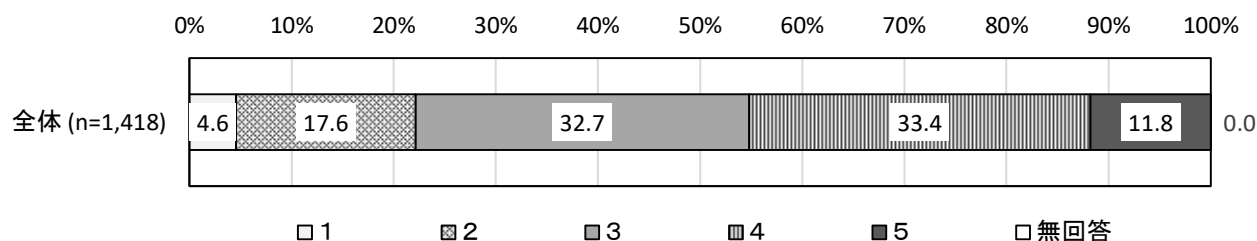
問 31 妊娠中や出産後に、どのようなサービスなどが必要だと思いますか。当てはまる番号を3つまで選んでください。

「経済的な支援」が 55.0%と最も高く、次いで「赤ちゃんやきょうだいの一時的な預かり」が 39.4%、「母親の体調や不安感の相談」が 38.2%となっています。



問 36 子どもを育てている現在の生活に満足していますか。5段階で当てはまる番号を1つ選んでください。

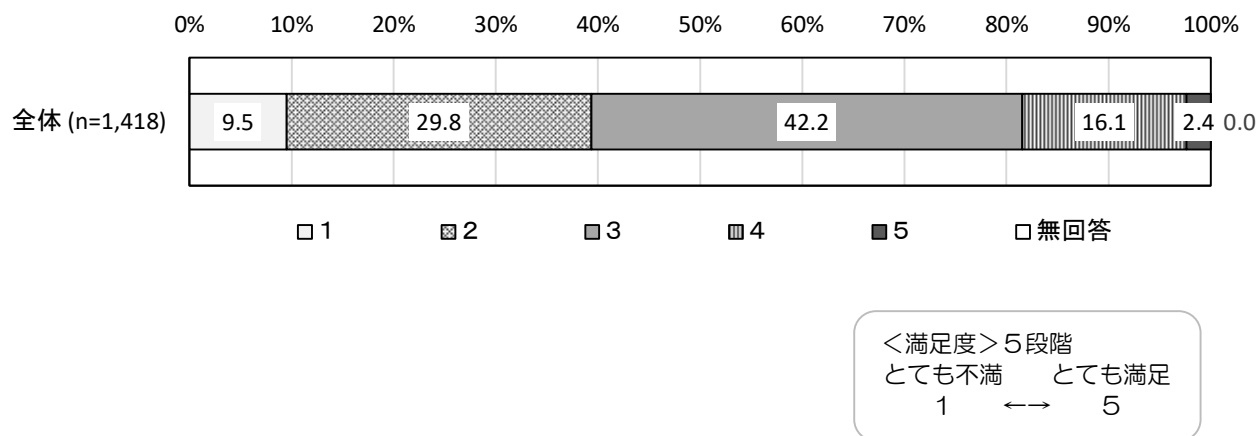
「4 (満足度がやや高い)」が 33.4%と最も高く、次いで「3 (どちらともいえない)」が 32.7%、「2 (満足度がやや低い)」が 17.6%となっています。



＜満足度＞5段階
 とても不満 とても満足
 1 ↔ 5

問 37 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号を1つ選んでください。

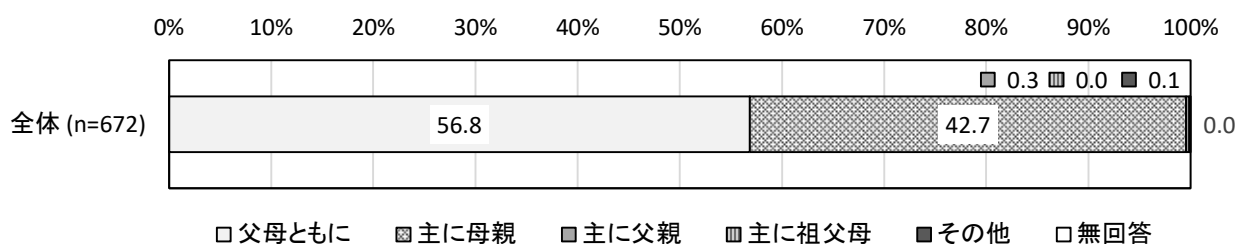
「3(どちらともいえない)」が42.2%と最も高く、次いで「2(満足度がやや低い)」が29.8%、「4(満足度がやや高い)」が16.1%となっています。



調査結果 小学生調査

問7 あて名のお子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号を1つ選んでください。

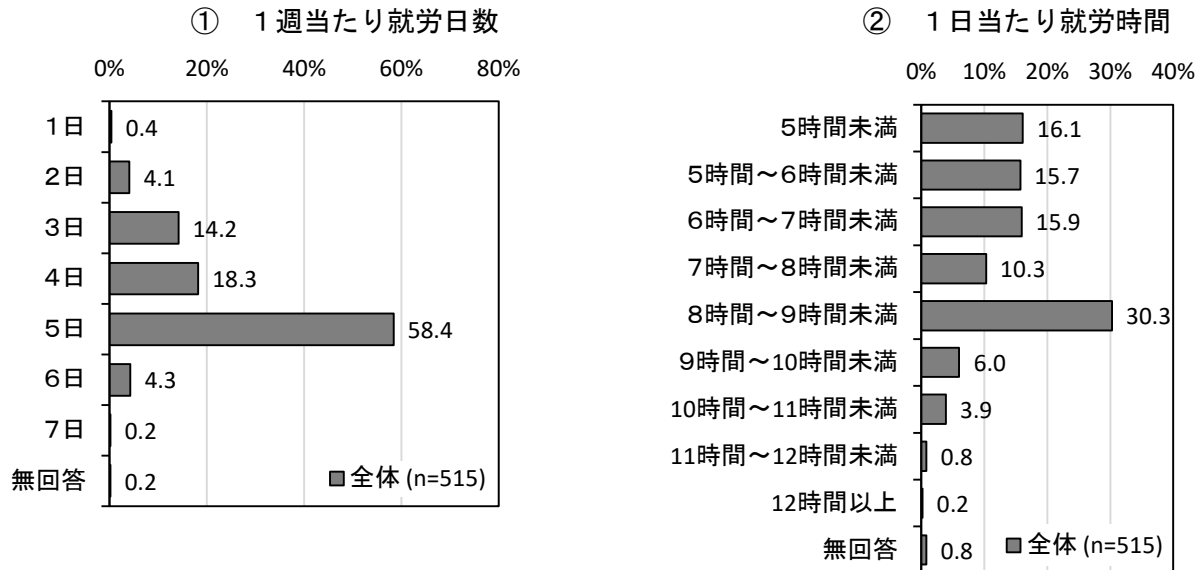
「父母ともに」が56.8%、「主に母親」が42.7%となっています。



問8 (1)-1 (1)で「1. 就労している」を選択した方にうかがいます。

1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」を記入してください。

1週当たり就労日数は、「5日」が58.4%と最も高く、次いで「4日」が18.3%、「3日」が14.2%となっています。1日当たり就労時間は、「8時間～9時間未満」が30.3%と最も高く、次いで「5時間未満」が16.1%、「6時間～7時間未満」が15.9%となっています。



問10 平日の放課後、あて名のお子さんはどのように過ごしていますか。時間帯ごとに最も多い過ごし方を、それぞれの時間帯ごとに1つだけ下の【選択肢表】から選び、番号を記入してください。

14時～16時の過ごし方では、「小学校にいる（下校前である）」が27.7%と最も高く、次いで「自宅等で保護者や兄弟姉妹、祖父母等の家族と一緒にいる」が27.4%、「放課後児童クラブを利用している」が20.4%となっています。

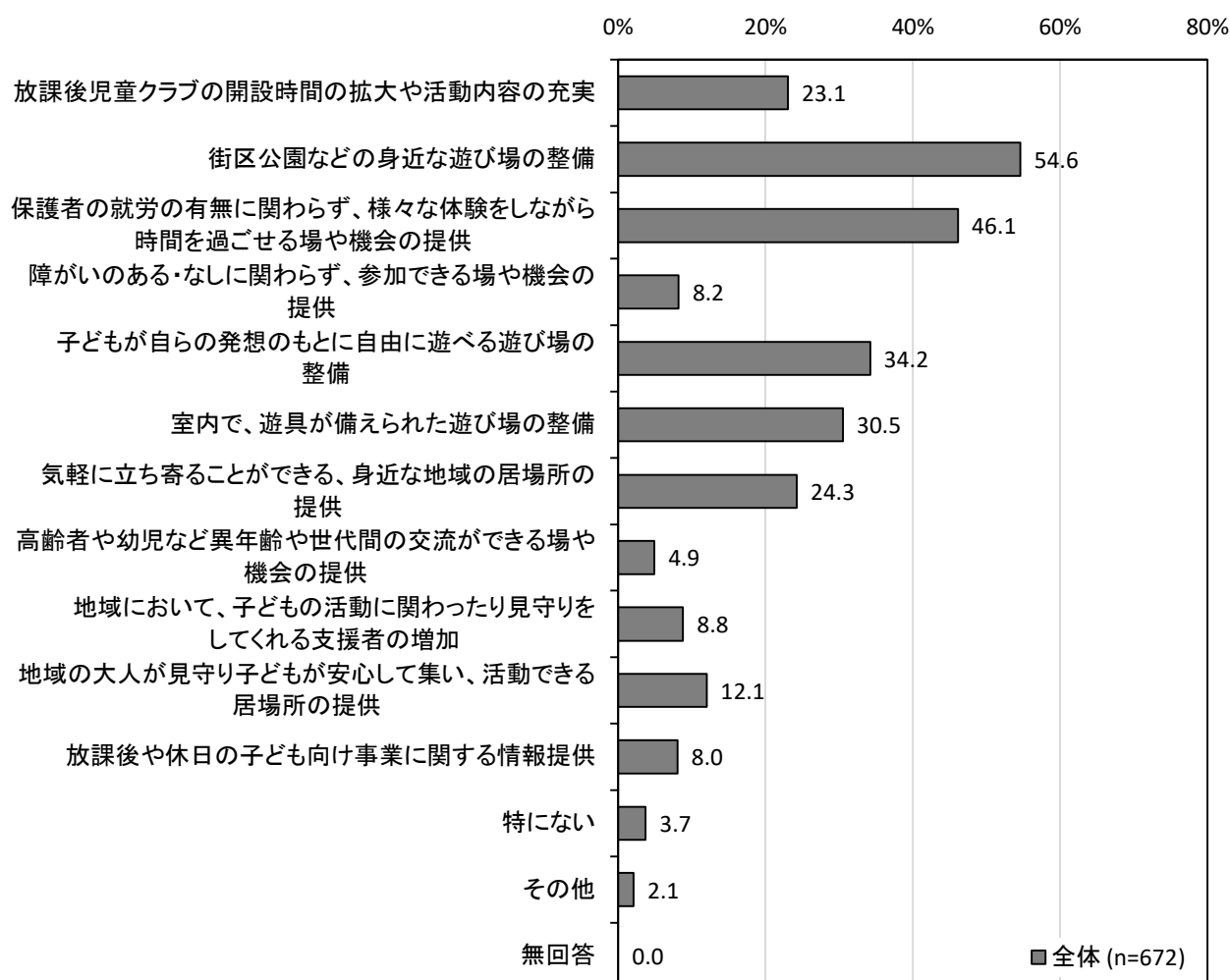
16時～18時の過ごし方では、「自宅等で保護者や兄弟姉妹、祖父母等の家族と一緒にいる」が42.1%と最も高く、次いで「習い事や学習塾に行っている」が29.0%、「放課後児童クラブを利用している」が14.0%となっています。

18時～20時までの過ごし方では、「自宅等で保護者や兄弟姉妹、祖父母等の家族と一緒にいる」が85.7%と最も高く、20時以降の過ごし方では、「自宅等で保護者や兄弟姉妹、祖父母等の家族と一緒にいる」が96.3%と最も高くなっています。

土、日曜日・祝日の過ごし方では、全体的に「自宅等で保護者や兄弟姉妹、祖父母等の家族と一緒にいる」が最も高くなっています。

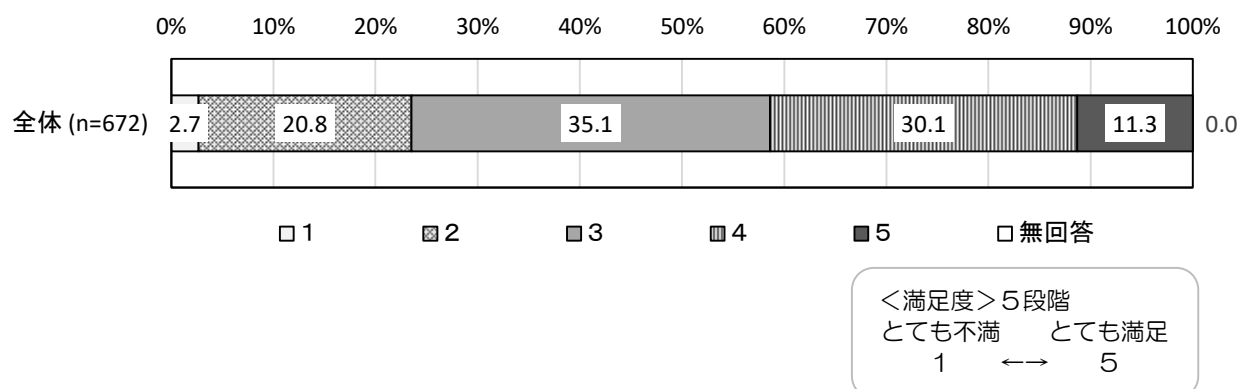
問 13 すべての方にうかがいます。小学生が放課後を過ごす環境について、今後望むことは何ですか。当てはまる番号を3つまで選んでください。

「街区公園などの身近な遊び場の整備」が54.6%と最も高く、次いで「保護者の就労の有無に関わらず、様々な体験をしながら時間を過ごせる場や機会の提供」が46.1%、「子どもが自らの発想のもとに自由に遊べる遊び場の整備」が34.2%となっています。



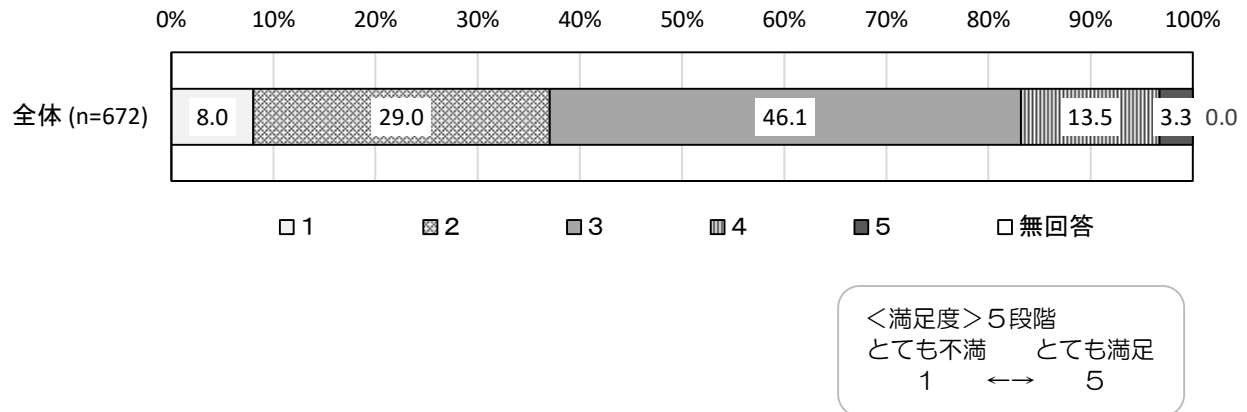
問 20 あなたは、子どもを育てている現在の生活に満足していますか。当てはまる番号を1つ選んでください。

「3(どちらともいえない)」が35.1%と最も高く、次いで「4(満足度がやや高い)」が30.1%、「2(満足度がやや低い)」が20.8%となっています。



問 21 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号を1つ選んでください。

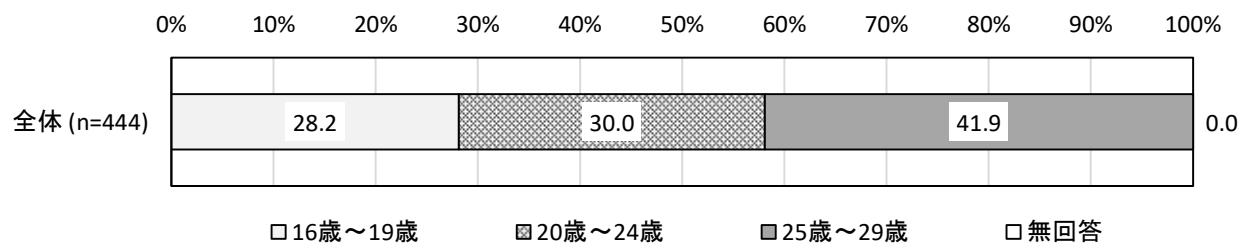
「3（どちらともいえない）」が46.1%と最も高く、次いで「2（満足度がやや低い）」が29.0%、「4（満足度がやや高い）」が13.5%となっています。



調査結果 若者調査

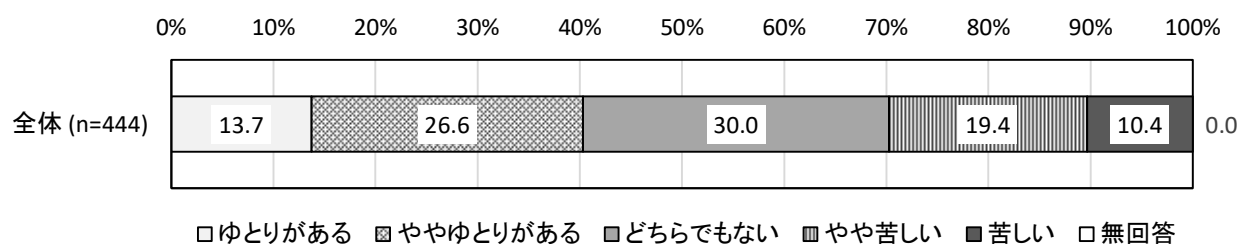
問 3 令和6年（2024年）3月31日時点のあなたの年齢をお答えください。

「16歳～19歳」が28.2%、「20歳～24歳」が30.0%、「25歳～29歳」が41.9%となっています。



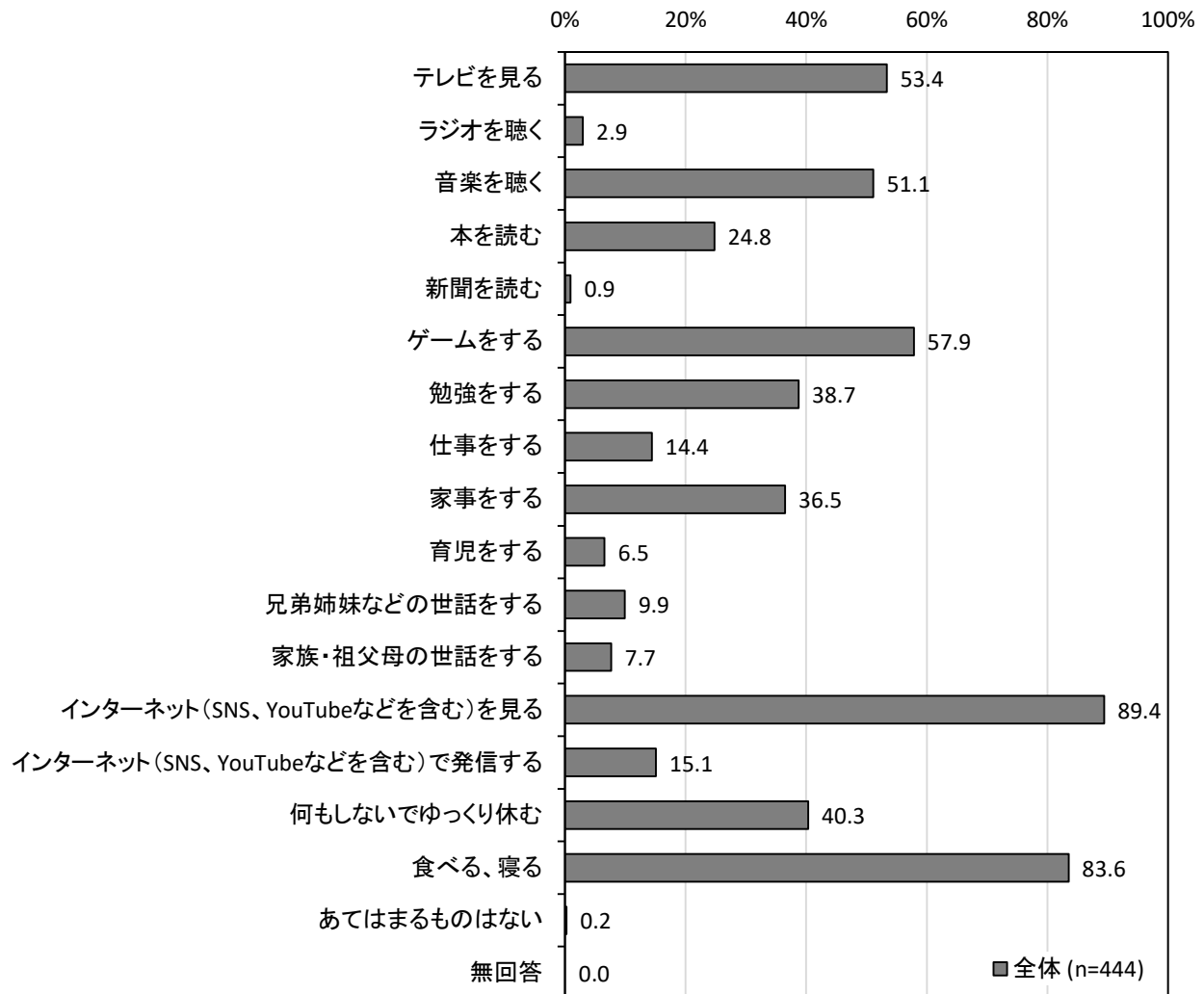
問 10 あなたは、経済的にみて、現在の生活をどのように感じていますか。当てはまる番号を1つ選んでください。

「どちらでもない」が30.0%と最も高く、次いで「ややゆとりがある」が26.6%、「やや苦しい」が19.4%となっています。



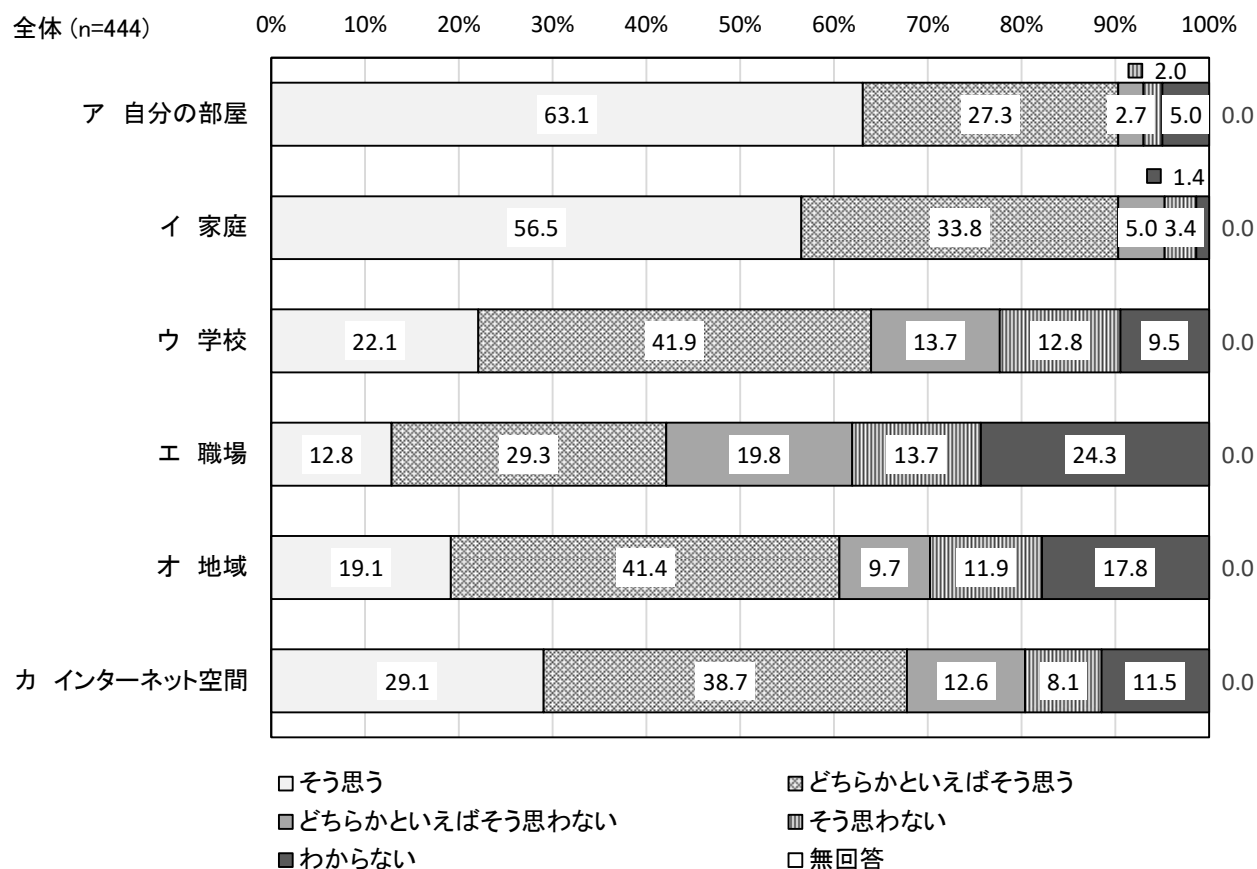
問 12 普段ご自宅（暮らしている場所）にいるときは、どんなことに時間を使っていますか。よくしていることをすべて選んでください。当てはまる番号をすべて選んでください。

「インターネット（SNS、YouTube などを含む）を見る」が89.4%と最も高く、次いで「食べる、寝る」が83.6%、「ゲームをする」が57.9%となっています。



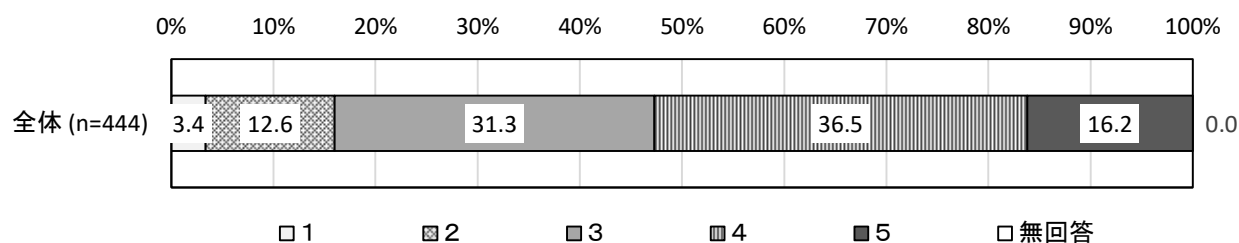
問 13 次の場所は、今のあなたにとって居場所（ほっとできる場所、居心地の良い場所など）になっていますか。ア～カそれぞれについて当てはまる番号を1つ選んでください。

“ア 自分の部屋”、“イ 家庭”で「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を足した『思う』の割合が高くなっています。一方、“ウ 学校”、“エ 職場”で「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を足した『思わない』の割合が高くなっています。



問 17 あなたは今の生活に満足していますか。当てはまる番号を1つ選んでください。

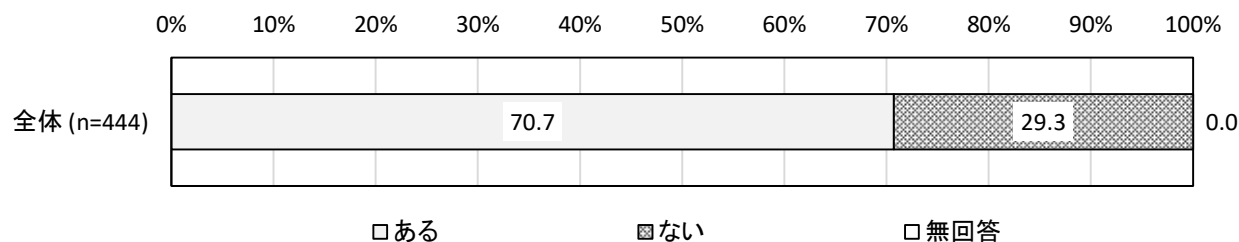
「4（満足度がやや高い）」が36.5%と最も高く、次いで「3（どちらともいえない）」が31.3%、「5（満足度が高い）」が16.2%となっています。



<満足度> 5段階
 とても不満 とても満足
 1 ↔ 5

問 19 現在、あなたは悩みや心配ごとがありますか。当てはまる番号を1つ選んでください。

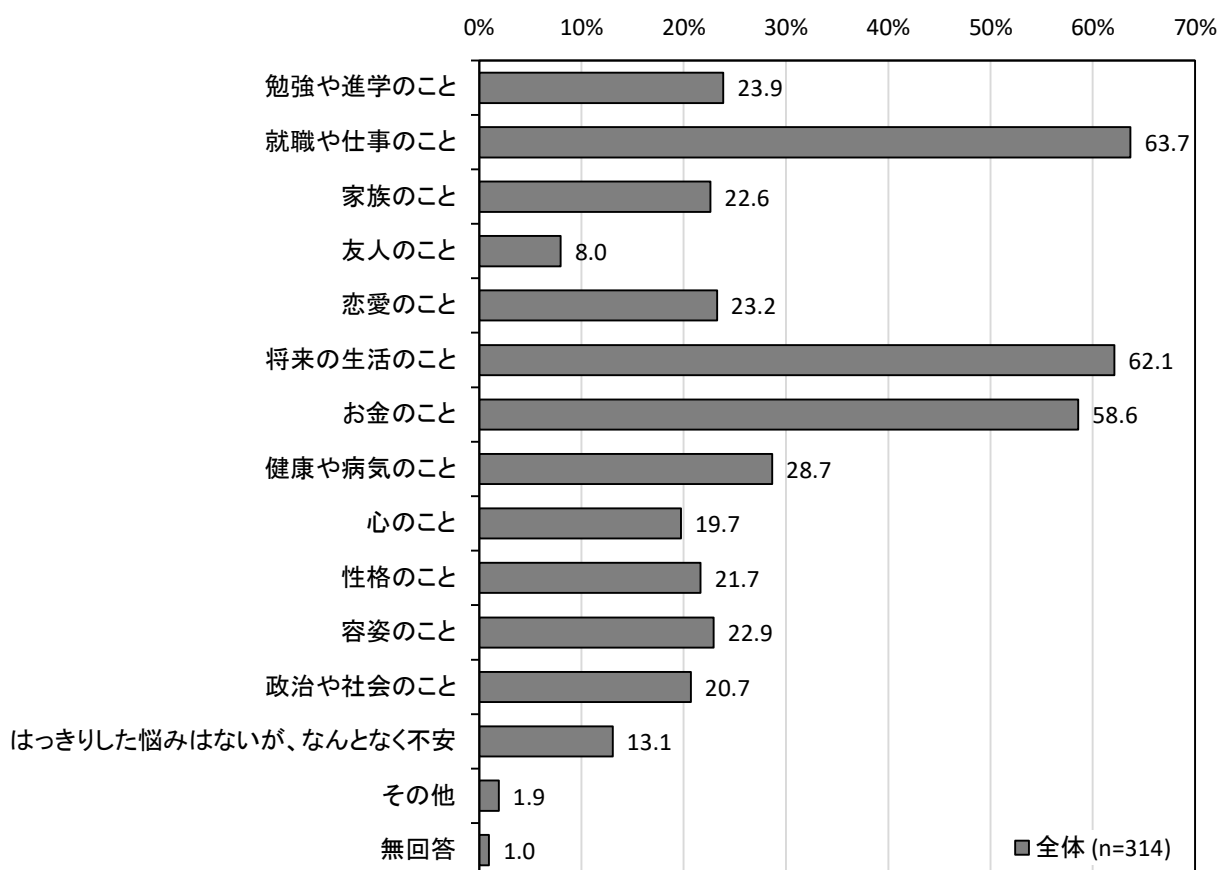
「ある」が70.7%、「ない」が29.3%となっています。



問 19-1 問 19 で「1. ある」を選択した方にうかがいます。

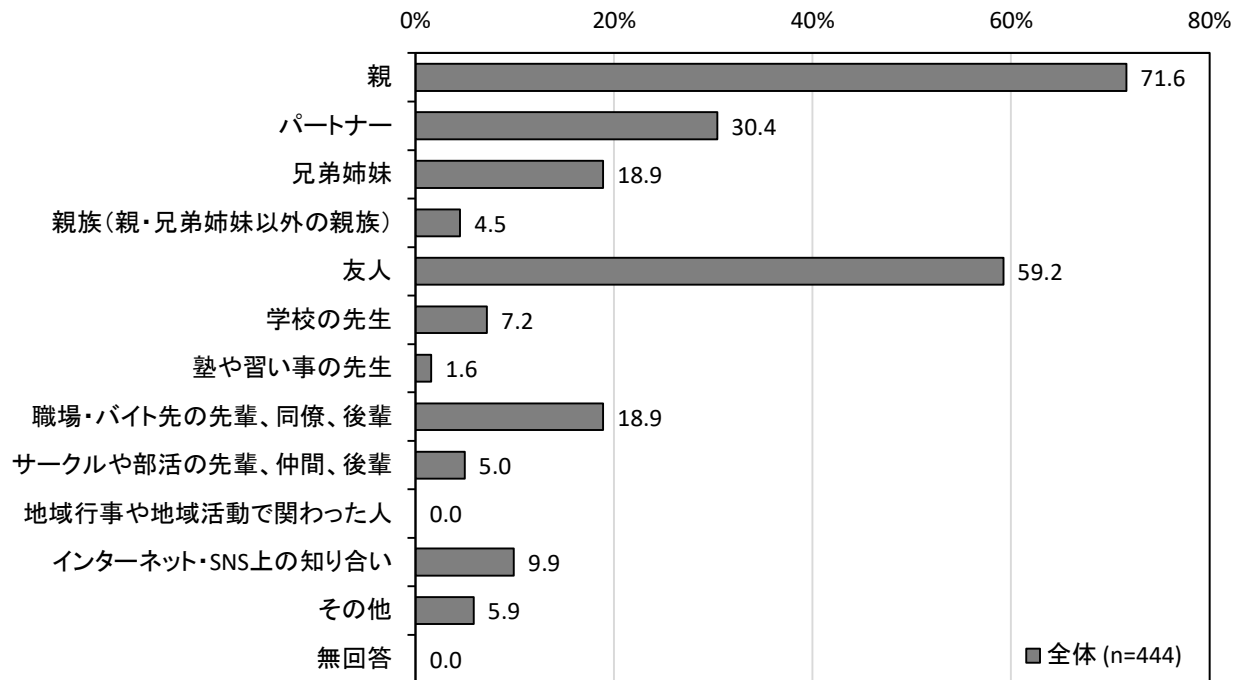
さしつかえなければ、あなたの悩みや心配ごとをお答えください。当てはまる番号をすべて選んでください。

「就職や仕事のこと」が63.7%と最も高く、次いで「将来の生活のこと」が62.1%、「お金のこと」が58.6%となっています。



問 20 悩みや心配ごとがあったときに、だれ（どこ）に相談しますか。当てはまる番号をすべて選んでください。

「親」が71.6%と最も高く、次いで「友人」が59.2%、「パートナー」が30.4%となっています。

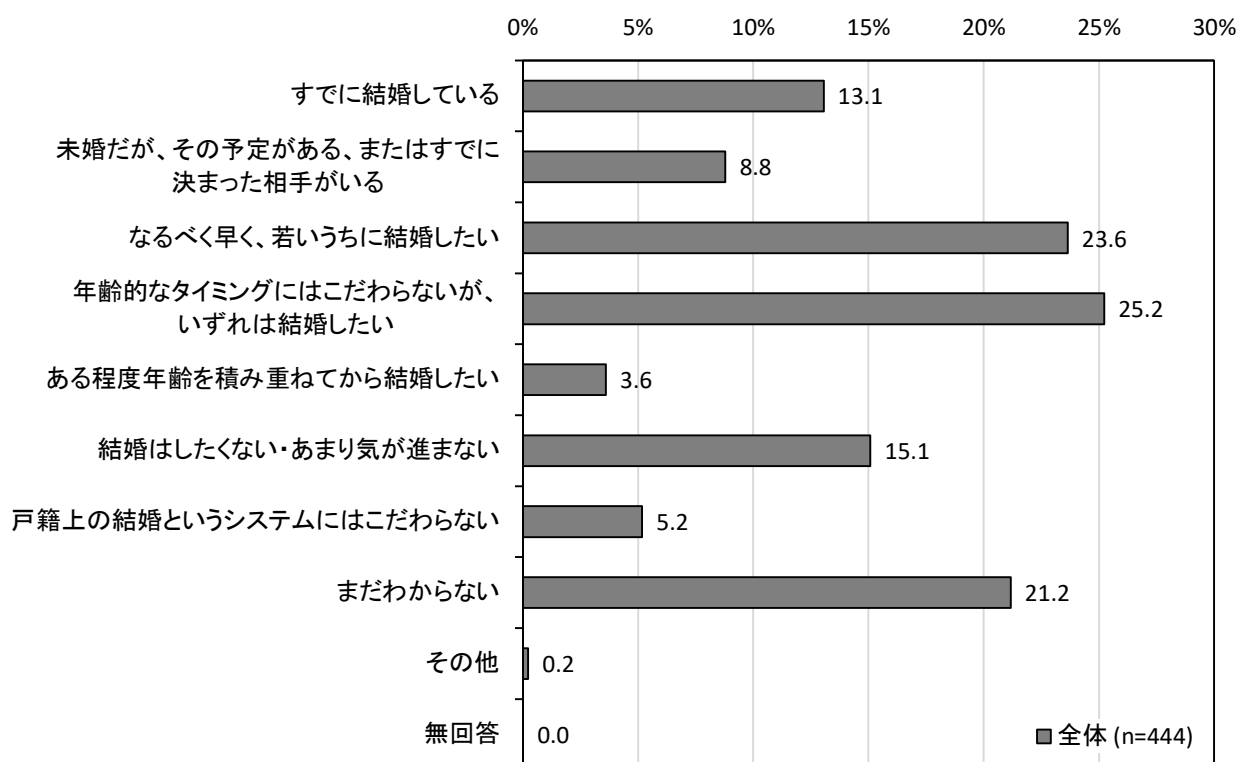


問 21 結婚についてあなたの状況や考え方を教えてください。当てはまる番号をすべて選んでください。

「年齢的なタイミングにはこだわらないが、いずれは結婚したい」が25.2%と最も高く、次いで「なるべく早く、若いうちに結婚したい」が23.6%、「まだわからない」が21.2%となっています。

また、回答を区分してみると、「なるべく早く、若いうちに結婚したい」と「年齢的なタイミングにはこだわらないが、いずれは結婚したい」と「ある程度年齢を積み重ねてから結婚したい」を足した『結婚したい』の割合は49.5%、「結婚はしたくない・あまり気が進まない」という『結婚には気が進まない』の割合は15.1%、「戸籍上こだわらない」と「まだ分からない」を足した『「結婚」とは違う・まだ分からない』の割合は24.3%となっています。

なお、本設問は当てはまる選択肢をすべて選ぶ設問のため、1人の回答者が同区分内で2つ以上選択している場合は1件として集計しています。

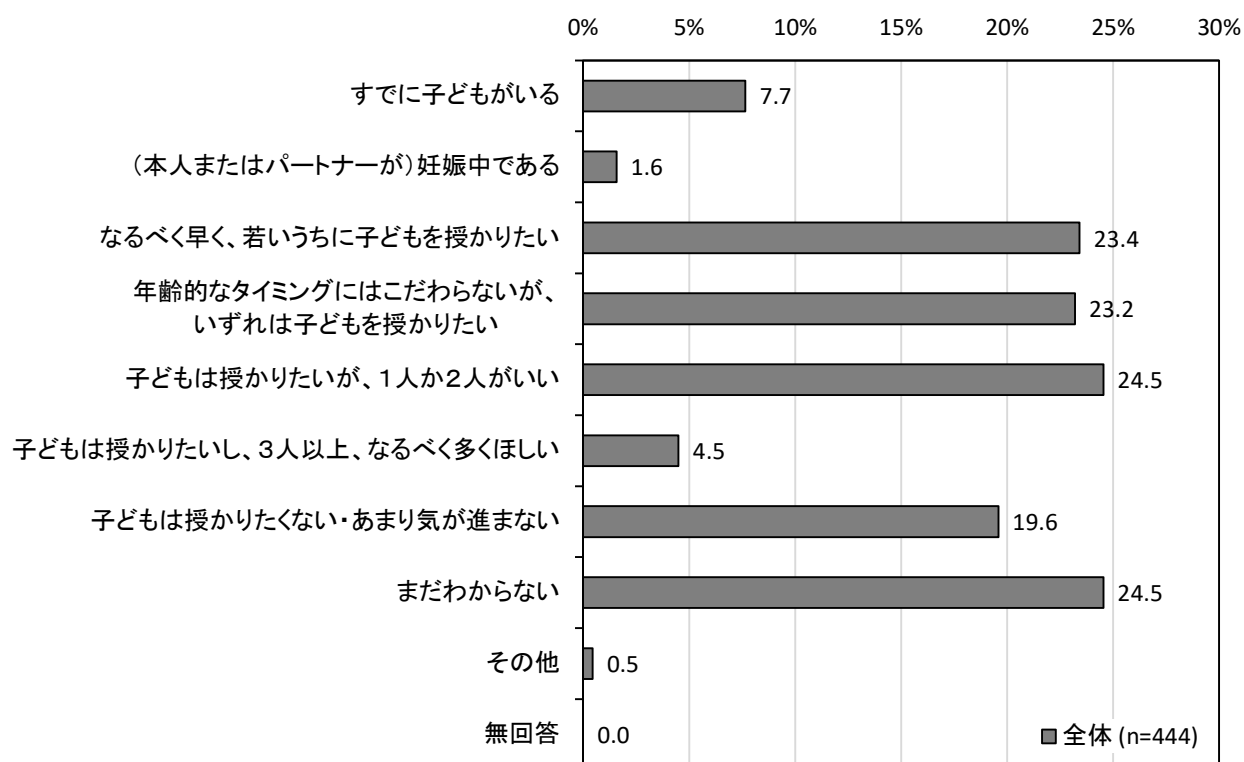


問 22 子どもを授かることについてあなたの状況や考え方を教えてください。当てはまる番号をすべて選んでください。

「子どもは授かりたいが、1人か2人がいい」、「まだわからない」がそれぞれ24.5%と最も高く、次いで「なるべく早く、若いうちに子どもを授かりたい」が23.4%、「年齢的なタイミングにはこだわらないが、いずれは子どもを授かりたい」が23.2%となっています。

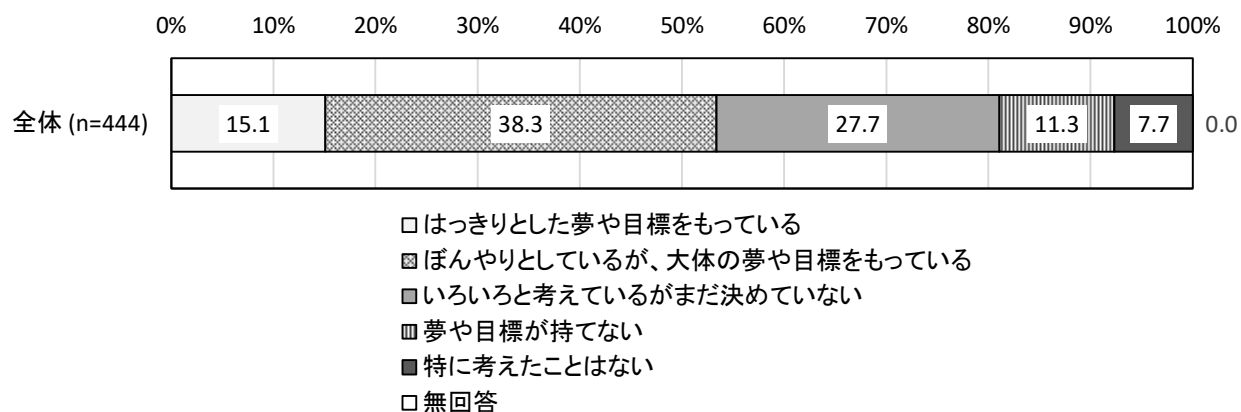
また、回答を区分してみると、「なるべく早く、若いうちに子どもを授かりたい」から「子どもは授かりたいし、3人以上、なるべく多くほしい」を足した『子どもがほしい』の割合は53.6%、「子どもは授かりたくない・あまり気が進まない」という『子どもがほしくない』の割合は19.6%、「まだわからない」という『わからない』の割合は24.5%となっています。

なお、本設問は当てはまる選択肢をすべて選ぶ設問のため、1人の回答者が同区分内で2つ以上選択している場合は1件として集計しています。



問 23 あなたは、将来の夢や目標がありますか。当てはまる番号を1つ選んでください。

「ぼんやりとしているが、大体の夢や目標をもっている」が38.3%と最も高く、次いで「いろいろ考えているがまだ決めていない」が27.7%、「はっきりとした夢や目標をもっている」が15.1%となっています。



問 25 子どもや若者に対してどのような支援があるとよいと思いますか。当てはまる番号をすべて選んでください。

「生活や教育への経済的な支援」が52.7%と最も高く、次いで「子どもや若者が気軽に集える居場所づくり」が41.2%、「仲間と出迎え、交流できる機会や場の提供」が35.6%となっています。

